

必ずお読みください



お使いになるうえでの**注意事項**

このたびは、弊社の製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
本書では、本製品をお使いになるうえで知っておいていただきたいこと、参考にしていただきたいことを記載しています。添付のマニュアルと共に大切に保管してください。
なお、本書では、本パソコンがご購入時の設定であることを前提に説明しています。

お使いになるうえでの注意事項

ここでは、本パソコンに添付されているアプリケーションをお使いの際に、知っておいていただきたい注意事項を説明しています。お使いの機種によっては、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』の「技術情報」にも注意事項が記載されていることがありますので、あわせてご覧ください。

また、各アプリケーションのマニュアルやヘルプもあわせてご覧ください。

本書の表記について

- **機種名について**

機種名を次のように表記しています。

機種名	本書での表記
FMV-DESKPOWER K3/50,K3/50c	Kシリーズ、またはK3/50,K3/50c
FMV-DESKPOWER C3/60L,C3/55L,C3/557,C3/50L,C3/505c	Cシリーズ、またはC3/60L,C3/55L,C3/557,C3/50L,C3/505c
FMV-DESKPOWER M3/557	Mシリーズ、またはM3/557
FMV-DESKPOWER ME3/507,ME3/505,ME3/505P	MEシリーズ、またはME3/507,ME3/505,ME3/505P
FMV-DESKPOWER Pliche model 346	プリシェ

- **製品の呼びかたについて**

製品名称を次のように略して表記しています。

製品名称	本書での表記
FMV-DESKPOWER	DESKPOWER
FMV-DESKPOWER Pliche	プリシェ
Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITION	Windows98
Microsoft® Windows® 95 operating system	Windows95
Microsoft® WindowsNT® Workstation Operating System Version4.0	WindowsNT 4.0
Microsoft® Word2000 for Windows®	Word2000
Microsoft® Excel2000 for Windows®	Excel2000
Microsoft® Outlook® 2000 for Windows®	Outlook2000
Microsoft® NetMeeting™ Version2.1	Microsoft NetMeeting
Microsoft® IME 2000	MS-IME2000
Microsoft® Internet Explorer 5.00.2614.3500	Internet Explorer
Microsoft® Outlook™ Express	Outlook Express
Microsoft® FrontPage Express™	FrontPage Express
はじめよう！インターネット(@nifty) (無料体験付)	はじめよう！インターネット(@nifty)
ゼンリン電子地図帳Z[zi] II for FUJITSU	ゼンリン電子地図帳Z II
VirusScan for Windows 95/98	VirusScan
10円メールマスター Ver.2	10円メールマスター
SANRIO TINY PARK VOL.4	SANRIO TINY PARK4
筆ぐるめVersion7.0	筆ぐるめ
FM手帳	FM手帳

目次

第1章 必ずお読みください

● 全機種情報

A1. マニュアルの読み替えについて	1
A2. CD-ROM の取り扱いについて	1
A3. CD-ROM「かるがるパソコン入門」をお使いの方へ	1
A4. アプリケーション起動時のエラーについて	1
A5. Windows98 起動時/終了時について	1
A6. Windows98 の強制終了について	1
A7. Windows98 の CD-ROM について	1
A8. 「Windows」キーを押したときの動作について	1
A9. 省電力機能について	2
A10. Windows98 を終了するときの注意	2
A11. 画面の解像度や色数の変更について	2
A12. 接続されるディスプレイと画面のリフレッシュレートについて	3
A13. スクリーンセーバーについて	3
A14. USB キーボードについて	3
A15. マウスのスクロールボタンについて	3
A16. 「アクセサリ」のペイントについて	3
A17. オブジェクトの挿入について	4
A18. ダイヤラをお使いの場合	4
A19. Direct 3D または Direct Draw 対応のゲームなどについて	4
A20. Microsoft Backup でテープデバイスをお使いになる場合	4
A21. Office 2000 Personal について (Office 2000 Personal モデルのみ)	5
A22. Microsoft [®] Photo Editor について (Office 2000 Personal モデルのみ)	5
A23. VirusScan について	6
A24. アプリケーション「FAX 留守番電話」について	6
A25. 「FM かんたんバックアップ/データ」について	6
A26. ACPI の設定でネットワーク上のファイルを利用する場合の注意	6
A27. FrontPageExpress をお使いになりたい場合	6
A28. Direct X 対応のソフトをお使いになる場合	6
A29. ホームページが文字化けする場合	7
A30. MS-DOS のアプリケーションをお使いの場合	7
A31. システムリソースについて	7
A32. モデムの通信中もしくは着信時の注意事項	8

● 機種別情報

a1.USB マウスについて	
MEシリーズのみ	9
a2.USB キーボードについて	
Mシリーズ,MEシリーズのみ	9
Mシリーズのみ	9
MEシリーズのみ	9
a3.USB 機器の接続について	
Mシリーズ,MEシリーズのみ	9
a4.スピーカーフォン機能について	
Kシリーズ,Cシリーズ,Mシリーズ,MEシリーズのみ	9
a5.通信切断時の音声について	
Cシリーズ,MEシリーズのみ	9
a6.C3/60L,C3/55L,C3/50L におけるデジタル液晶ディスプレイについて	
C3/60L,C3/55L,C3/50Lのみ	10
a7.PCI 規格の拡張カードを増設する場合	
Cシリーズ	10
Mシリーズ	10
a8.画面が中央に表示されない場合	
Kシリーズを除く	10
a9.ディスプレイの交換について	
Cシリーズ	10
a10.システム起動時の画面の乱れについて	
Kシリーズ,Cシリーズのみ	10
a11.PC カードをお使いになる場合	
Kシリーズのみ	10
a12.CD-ROM「かるがるパソコン入門」をお使いの方へ	
Kシリーズ,Mシリーズのみ	10

第2章 必要に応じてお読みください

● 全機種情報

B1.キーボードの種類について.....	11
B2.画面の表示色について.....	11
B3.画面の解像度や色数の変更について.....	11
B4.グラフィックの性能について.....	11
B5.画面にアイコン表示やウィンドウの一部やウィンドウの中に再描画されない部分が残ってしまった場合.....	11
B6.デスクトップの壁紙について.....	12
B7.タイトルバーのグラデーションについて.....	12
B8.タスクバーに起動していないアプリケーションのボタンが表示される場合.....	12
B9.日本語入力システムについて.....	12
B10.省電力機能について.....	12
B11.LAN カード接続時の省電力機能について.....	12
B12.USB キーボードについて.....	13
B13.コントロールパネルについて.....	13
B14.「コントロールパネル」の「マルチメディア」について.....	13
B15.「コントロールパネル」の「日付と時刻」について.....	13
B16.「コントロールパネル」の「システムのプロパティ」について.....	13
B17.デフラグやスキャンディスクの実行について.....	13
B18.「アクセサリ」の「Windows Media Player」について.....	13
B19.「アクセサリ」の「ペイント」について.....	14
B20.「アクセサリ」の「拡大鏡」について.....	14
B21.「アクセサリ」の「ハイパーターミナル」について.....	14
B22.アプリケーションソフトについて.....	14
B23.アプリケーションのヘルプについて.....	14
B24.アプリケーションのインストールおよびアンインストールについて.....	14
B25.アプリケーションの「送信」機能をお使いになる場合.....	15
B26.音の出るアプリケーションをお使いになる場合.....	15
B27.印刷プレビューについて.....	15
B28.WAKE UP 機能について.....	15
B29.RealPlayer について.....	15
B30.インターネット上での RealAudio ファイル/ShockWave ファイルの再生について.....	15
B31.通信などでパソコンから電話をかける場合.....	15
B32.USB 機器の増設について.....	16
B33.Microsoft Exchange および Microsoft Fax について.....	16
B34.Microsoft NetMeeting について.....	16
B35.Outlook Express について.....	16
B36.Outlook2000 について (Office 2000 Personal モデルのみ).....	16
B37.Lotus 1-2-3 2000 について (一太郎,OASYS モデルのみ).....	16
B38.Net-It Now!について (一太郎,OASYS モデルのみ).....	17
B39.「Word2000&Excel2000 の虎の巻」、「一太郎 10&Lotus1-2-3 2000 の虎の巻」について.....	17
B40.OASYS について (OASYS モデルのみ).....	17
B41.OASYS (V7.0)の「ユーザ定義文字の変換」について (OASYS モデルのみ).....	17
B42.FM 手帳について.....	17
B43.FM 便利ツールについて.....	18
B44.FM Advisor について.....	18
B45.らくらく写真館について.....	18
B46.らくらく写真館の Photoware/FDi 注文ソフトについて.....	18
B47.らくらくメール BOX について.....	18
B48.ゲームをお使いになる場合.....	18
B49.文字が正しく表示されない場合.....	19
B50.ウィンドウの「最小化」「最大化」「閉じる」ボタンが正しく表示されない場合.....	19
B51.フォントがインストールできない場合.....	19
B52.ネットワークプロトコルが追加できない場合.....	19
B53.「FM 一発修正」について.....	19
B54.筆ぐるめについて.....	19

B55.筆ぐるめの住所録データをFM手帳に読み込むときの注意	20
B56.タッチおじさんメールについて	20
B57.VirusScanについて	20
B58.ポケベルコール機能について	20
B59.サンリオアクセサリーについて	20
B60.通信速度、および通信モードの設定について	21
B61.ゼンリン電子地図帳ZIIをインストールする場合	21
B62.ゼンリン電子地図帳ZIIについて	21
B63.別売モデムをお使いになる方へ	21
B64.FAX留守番電話について	21
B65.ユーザ登録や加入手続きをオンラインで行うときの注意	22
B66.インターネット(@nifty)無料体験について	22
B67.AOLについて	22
B68.マスターネットをお使いの方へ	23
B69.複数のユーザが使用する設定で本パソコンをお使いの場合	23
B70.ヘッドセットのサポートについて	23
B71.ディスプレイ・画面表示に異常がある場合	23
B72.画面の乱れについて	23
B73.MS-DOSモードでCD-ROMをお使いになる場合	23
B74.ご購入時に内蔵されているCDドライブの専用ドライバをお使いになる場合	24
B75.Visual Basic Editorについて (Office 2000 Personal モデルのみ)	25
B76.ノイズについて	25
B77.ACPI非対応プリンタをお使いの場合	26
B78.Jet-Audio Playerについて	26

● 機種別情報

b1.画面の解像度や色数の変更について プリシェのみ.....	27
b2.複数のオーディオソースを録音するとき Kシリーズ,プリシェのみ.....	27
Cシリーズ,Mシリーズのみ.....	27
b3.市販のMIDI機器を接続するには Kシリーズ,Cシリーズ,Mシリーズ,MEシリーズのみ.....	27
b4.マルチモニタ機能について Kシリーズのみ.....	27
Cシリーズのみ.....	27
MEシリーズのみ.....	27
b5.IDEのDMA転送について MEシリーズ,プリシェのみ.....	27
b6.マイクとスピーカーを使った通話機能について プリシェのみ.....	28
b7.別売のPS/2キーボードやPS/2マウスをお使いの方へ Kシリーズ,MEシリーズのみ.....	28
b8.増設した拡張カードのMS-DOS版ユーティリティを使う場合 Cシリーズ,Mシリーズ,プリシェのみ.....	28
b9.OASYSフロッピーのサポートについて Mシリーズ,MEシリーズのみ.....	28
b10.ナンバーディスプレイ表示用アダプタをお使いの方へ プリシェのみ.....	28
b11.RealAudio G2 Playerのボリュームコントロールについて プリシェのみ.....	28
b12.スピーカーのハム音(ブー音)について Cシリーズ,Mシリーズ,MEシリーズのみ.....	28
b13.DragonSpeechについて DragonSpeech対象品のみ.....	28
b14.らくらく写真館のPhotoware/FDi注文ソフトについて プリシェのみ.....	29
b15.画面拡大機能について プリシェのみ.....	29
b16.Kシリーズ,Cシリーズのグラフィックについて Cシリーズのみ.....	29
C3/557のみ.....	29
b17.画面表示が小さくなる場合があります Kシリーズ,C3/60L,C3/55L,C3/50Lのみ.....	30
b18.Mシリーズの画面の表示について.....	30
b19.MEシリーズのグラフィックについて.....	30
b20.アナログディスプレイでの640x480の60Hzの画面位置の調整について Cシリーズのみ.....	30
b21.GAMEPACK2001について Kシリーズ,Cシリーズのみ.....	31
b22.ソフトウェアカーソルについて MEシリーズのみ.....	31
b23.AC復電時の動作について MEシリーズのみ.....	31
b24.スタンバイ時のUSB機器の接続について Cシリーズ,Mシリーズ,MEシリーズのみ.....	31
b25.スタンバイ状態(ACPI S3)から復帰時のUSBキーボードのキーリピートについて Kシリーズ,Cシリーズのみ.....	31
b26.Easy CD Creatorについて M3/557,ME3/507のみ.....	31

b27.FAX 留守番電話について	
プリシェのみ.....	33
b28.ナンバーディスプレイを契約されている電話回線をお使いの方へ	
プリシェのみ.....	34
K シリーズ,C シリーズ,M シリーズ,ME シリーズのみ.....	34
b29.アクセスポイントについて	
K シリーズ,C シリーズ,M シリーズ,ME シリーズのみ.....	34
b30.PEOPLE をお使いの方へ	
K シリーズ,C シリーズ,M シリーズ,ME シリーズのみ.....	34
b31.マスターネットをお使いの方へ	
K シリーズ,C シリーズ,M シリーズ,ME シリーズのみ.....	34
b32.スピーカーフォン／通話録音・通話再生機能について	
プリシェのみ.....	34
b33.かんたんメールボタンについて	
プリシェのみ.....	35
b34.オプションカードの増設について	
C シリーズのみ.....	35
b35.PCカード使用後の省電力機能について	
プリシェのみ.....	35
b36.電源投入直後および再起動後に Windows98 の Safe モードになった場合	
ME シリーズのみ.....	35
b37.IEEE1394 機器の接続について	
M3/557 のみ.....	36
b38.WinDVD について	
WinDVD 対象品のみ.....	36
b39.WinDVD のヘルプにおける Search 機能について	
WinDVD 対象品のみ.....	36
b40.アプリケーションソフトについて	
M シリーズのみ.....	36
b41.オブジェクトの挿入について	
DVD 対応機種のみ.....	36
b42.動画ファイルの再生時について	
DVD 対応機種のみ.....	36
b43.スーパー統合辞書の動画再生について	
DVD 対応機種のみ.....	37
b44.らくらく写真館について	
Cシリーズ,Mシリーズのみ.....	37
b45.MotionDV STUDIO について	
Mシリーズのみ.....	37
b46.IEEE1394 デバイス間でのデータ転送をおこなう場合	
M3/557 のみ.....	37
b47.イメージスキャナの Scanbox について	
M シリーズのみ.....	37

第1章 必ずお読みください

●全機種情報

A1.マニュアルの読み替えについて

- 添付の各アプリケーションのマニュアルやヘルプ、補足説明などが記載されたファイル (README など)、画面に表示されるメッセージなどで、「Windows95」の記述があった場合は、「Windows98」と読み替えてください。
- 本パソコンでは、クリック操作を「シングルクリック」に設定しています。添付のマニュアル・README ファイル・ヘルプなどで「ダブルクリック」と記載されているものは、「クリック」に読み替えてください。ただし、一部の操作では「クリック」ではなく、「ダブルクリック」で操作する必要があります。

A2.CD-ROM の取り扱いについて

読み込み中は、CD-ROM を取り出さないでください。アプリケーションが誤動作したり、システムが停止する場合があります。あわせて添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』の「Q CD-ROM を取り出したら青い画面になった」もご覧ください。

A3.CD-ROM「かるがるパソコン入門」をお使いの方へ

操作中まれに、「不正な処理」などのメッセージが表示される場合があります。この場合は、メッセージを閉じ、Windows98 を再起動してから、CD-ROM をセットし直してお使いください。

A4.アプリケーション起動時のエラーについて

次のようなエラーが発生した場合は、そのまま使用せず Windows98 を再起動させてください。

- 多くのアプリケーションを同時に起動したとき、システムのメモリが不足して、「例外エラー」や「ページ違反」が発生する場合があります。
- アプリケーションを終了したあと、「スタート」ボタンをクリックし、スタートメニューからメニュー項目を選択しようとすると、ごくまれにエラーメッセージが表示される場合があります。

A5.Windows98 起動時/終了時について

Windows98 の起動時/終了時などに画面モード (解像度、色数、リフレッシュレートなど) が切り替わる瞬間、一瞬画面にゴミのようなものが表示されたように見える場合がありますが、動作には影響がありません。ご了承ください。

A6.Windows98 の強制終了について

Windows98 やアプリケーションの動作中に、「Ctrl」キーと「Alt」キーを押しながら「Delete」キーを押すと、アプリケーションなどが強制終了されます。このとき、作成中のデータが保存できなかったり、使用中のデータが壊れてしまったりする可能性があります。不必要に強制終了はしないでください。

A7.Windows98 の CD-ROM について

本製品には、Windows98 の CD-ROM は添付されていません。ドライバのインストール時などに、Windows98 の CD-ROM をセットする旨のメッセージが表示された場合は、次のフォルダを参照させてください。

C:\¥Windows¥Options¥Cabs

A8.「Windows」キーを押したときの動作について

- アプリケーションが起動しているときなどに、「Windows」キーを押してもスタートメニューが表示されない場合があります。この場合は、マウスやフラットポイントを使って「スタート」ボタンをクリックしてください。
- アプリケーションを終了した直後や、メッセージなどが表示されたウィンドウを閉じた直後に「Windows」キーを押すと、エラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、「閉じる」をクリックしてエラーメッセージを閉じ、Windows98 を再起動してください。

A9.省電力機能について

● マルチメディア関連ファイル(MPEG,AVI ファイルなど)の再生について

アプリケーションの動作が不安定になるため、次のようなときは省電力機能を働かせないでください。

- Wave,MIDI などの音声,音楽関連ファイルを再生しているとき
- AVI,MPEG,DATなどの動画ファイルを再生しているとき
- 音楽 CD を再生しているとき
- 音の出るアプリケーションをお使いのとき
- 音声認識ソフトをお使いのとき

● 通信をする場合

スピーカフォンや FAX 留守番電話などの通信ソフトで通信中に、電源スイッチを押したりタイマー機能を使用するなどして、省電力機能を働かせないでください。通信が切断されたり、キーボードやマウスが使えなくなることがあります。ご購入時は、タイマーによる省電力機能が働いている設定になっています。設定を変更してお使いください。

● フロッピーディスクアクセス中の省電力機能について

フロッピーディスクアクセス中に省電力機能が働かないようにしてください。正常に動作が完了しない場合があります。

● MS-DOS プロンプトについて

- ウインド表示の場合

MS-DOS プロンプトを起動したまま省電力機能を働かせた場合、キーボードやスイッチでは正常に復帰しないことがあります。この場合はマウスを動かすと正常に復帰します。

- フルスクリーンの場合

MS-DOS プロンプトを起動したまま省電力機能を働かせた場合、復帰したときにタスクバーに MS-DOS が表示されていることがあります。その場合、この部分をクリックすることで正常に復帰します。

A10.Windows98 を終了するときの注意

- アプリケーションのウインドウを表示したまま Windows98 を終了または再起動すると、エラーメッセージが表示されるなど、Windows98 を正しく終了できない場合があります。また、Windows98 の終了または再起動中に、編集中のデータを保存するかどうかの確認メッセージが表示された場合、そこで保存するように指定しても正しく保存されない場合があります。

Windows98 を終了または再起動する前に、必要なデータはすべて保存し、起動しているアプリケーションはすべて終了してください。

- アプリケーション(メモ帳やペイントなど)でファイルを新規に作成したあと Windows98 を終了するときに、作成したファイルが必要な場合は、必ずそのファイルを保存してから Windows98 を終了してください。ファイルを保存せずに Windows98 を終了しようとしたときにも、保存先やファイル名を指定するウインドウが表示されますが、このとき日本語入力システムは使用できません。
- Windows98 を正常に再起動または終了できなくなった場合は、添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』の「Q 操作中に動かなくなった」をご覧ください。
- Windows98 を終了するときに、「このプログラムからの応答がありません。」というエラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、表示されたエラーメッセージの「終了」をクリックすると、Windows98 は終了します。このあと、そのまま本パソコンをお使いいただいても問題はありません。
- 「ネットワークドライブの割り当て」機能を使って、ネットワーク上の共有フォルダにドライブ名を割り当てていると、Windows 98 を正常に終了または再起動できなくなる場合があります。その場合は Windows 98 を終了または再起動する前に、「ネットワークドライブの割り当て」を解除してください。詳細につきましては、インターネットにあるホームページ(FM-WORLD)をご覧ください。アドレス(URL)は次のとおりです。

<http://www.fmworld.ne.jp/support/qa/w98/w98onoff.html#win98off>

(FM-WORLD の Q&A 事例「Windows 98」の「Windows 98 終了」)

A11.画面の解像度や色数の変更について

画面の解像度や色数を変更する場合は、必ず起動中のアプリケーションや常駐しているプログラムを終了してから行ってください。また、変更後は必ず Windows98 を再起動してください。再起動せずにお使いになると、パソコンの動作が不安定になる場合があります。なお、解像度や色数の変更時の再起動については、第 2 章の「画面の解像度や色数の変更について」にも注意して頂きたいことが記載されています。あわせてご覧ください。

A12.接続されるディスプレイと画面のリフレッシュレートについて

接続されるディスプレイによっては、ディスプレイがサポートしている最高リフレッシュレートを選択できない場合があります。この場合は、ディスプレイがサポートしているその他のリフレッシュレートを選択してください。なお、この設定で画面が中央に表示されない場合は、ディスプレイ側で調整を行ってください(ディスプレイのサポート周波数については、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください)。

A13.スクリーンセーバーについて

- スクリーンセーバーを表示しているときに、画面にカーソル表示が残る場合があります。
- 「OpenGL スクリーンセーバー」について
「OpenGL スクリーンセーバー」は、ご購入時はインストールされていません。このスクリーンセーバーをお使いになる場合は、「画面のプロパティ」で設定する前に、次の手順に従ってインストールしてください。
なお、OpenGL スクリーンセーバーに設定した場合に、いくつかの問題が発生する場合があります。あらかじめご了承ください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「アプリケーションの追加と削除」をクリックし、「Windows ファイル」タブをクリックします。
3. 「ファイルの種類」の一覧から「アクセサリ」を選択し、「詳細」をクリックします。
「アクセサリ」ウィンドウが表示されます。
4. 「ファイルの種類」の一覧から「スクリーンセーバー」を選択し、「詳細」をクリックします。
「スクリーンセーバー」ウィンドウが表示されます。
5. 「ファイルの種類」の一覧の「OpenGL スクリーンセーバー」をクリックしてチェックマークをつけ、「OK」をクリックします。
「アクセサリ」ウィンドウに戻ります。
6. 「OK」をクリックします。
「アプリケーションの追加と削除」ウィンドウに戻ります。
7. 「OK」をクリックします。
ファイルがコピーされます。これでインストールは終了です。

このあと、「画面のプロパティ」から「OpenGL スクリーンセーバー」を設定します。スクリーンセーバーの設定方法については、画面マニュアル『パソコン情報ランド』の「解決！Q&A」をご覧ください。

- 「3D 迷路」をお使いの方へ
「3D 迷路」使用中に省電力機能から復帰しないことがあります。スクリーンセーバーに「3D 迷路」を選択した場合、「設定」で「全画面表示にする」のチェックマークを外してお使いください。

A14.USB キーボードについて

- MS-DOS モードでお使いのときに、USB キーボードから一度に大量の文字を入力すると、まれにシステムが停止する場合があります。
- ご購入時は USB マウスが接続されているため、「PS/2 互換マウスポート」について次のように表示されますが、お使いになるうえではまったく問題ありません。そのままお使いください。
 - 「システムのプロパティ」(「コントロールパネル」の「システム」アイコンをクリックすると表示されます)の「デバイスマネージャ」タブにある「PS/2 互換マウスポート」の項目に「！」マークが表示されます。
 - 「アクセサリ」の「システム情報」で、「問題のあるデバイス」として「PS/2 互換マウスポート」が表示されます。

A15.マウスのスクロールボタンについて

本パソコンに添付されているマウスには、スクロールボタンがついています。このスクロールボタンの使い方は、アプリケーションによって異なります。また、アプリケーションによっては、スクロールボタンをお使いになれない場合があります。あらかじめご了承ください。なお、スクロールボタンの基本的な使い方については、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』の「スクロールボタンを使う」をご覧ください。

A16.「アクセサリ」のペイントについて

Word2000、一太郎 10 などで作成した文書に貼り付けられたオブジェクトを編集する場合には、呼び出されたペイントのパレットの色が正しく表示されません。オブジェクトの編集は、貼り付ける前に行ってください。

A17.オブジェクトの挿入について

ワープロソフトや表計算ソフトで、動画ファイルのようなサイズの大きなファイルをオブジェクトとして挿入すると、エラーメッセージが表示され、ワープロソフトなどが終了する場合があります。この場合は、作成中のデータは保存されません。サイズの大きなファイルをオブジェクトとして挿入するときは、あらかじめ作成中のデータを保存しておくことをお勧めします。

A18.ダイヤラをお使いの場合

Windows98 の「アクセサリ」の「通信」の「ダイヤラ」では、スピーカーフォンはお使いになれません。電話機をお使いください。

A19.Direct 3D または Direct Draw 対応のゲームなどについて

Direct 3D または Direct Draw に対応したゲームなどをインストールするとき、ゲームソフトなどに添付されている Direct 3D または Direct Draw (以降 Direct X と略記します) ドライバをインストールすると、Windows98 を正常に起動できない場合があります。

● インストール時の注意事項

Direct X に対応したゲームなどをインストールするとき、①「現在のディスプレイドライバを Direct X ドライバに置き換えますか？」のメッセージが表示される場合と、②メッセージは表示されずに無条件に Direct X ドライバがインストールされる場合があります。①の場合は、メッセージに対して「置き換えない」を選択してください。②の場合は、本パソコンにすでにインストールされている Direct X ドライバと、ゲームソフトなどに添付されている Direct X ドライバのバージョンが異なると、画面が真っ暗になります。その場合は、ディスプレイドライバをインストールし直してください。インストール方法については、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』の「ディスプレイドライバをインストールする」をご覧ください。

A20.Microsoft Backup でテープデバイスをお使いになる場合

ご購入時、およびパソコンをふりだしに戻したときは、Microsoft Backup (「アクセサリ」の「バックアップ」) を使用してテープデバイスへはバックアップできません。Microsoft Backup でテープデバイスをお使いになる場合は、次の手順で Microsoft Backup を再インストールしてください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「アプリケーションの追加と削除」をクリックし、「Windows ファイル」タブをクリックします。
3. 「ファイルの種類」の一覧から「システムツール」を選択し、「詳細」をクリックします。
「システムツール」ウィンドウが表示されます。
4. 「ファイルの種類」の一覧から「Microsoft バックアップ」をクリックしてチェックマークを外し、「OK」をクリックします。
5. 「アプリケーションの追加と削除」ウィンドウの「OK」をクリックします。
6. 画面に表示されるメッセージに従って、操作を進めます。
7. Microsoft Backup の削除が完了したら、手順 1.~手順 3.と同じように操作をします。
8. 「ファイルの種類」の一覧から「Microsoft バックアップ」をクリックしてチェックマークをつけ、「OK」をクリックします。
9. 「アプリケーションの追加と削除」ウィンドウの「OK」をクリックします。
ファイルがコピーされます。これで操作は終了です。

ただし、Microsoft Backup を再インストールすると、本体背面のパラレルコネクタにプラグアンドプレイ対応の機器 (プリンタなど) を接続した場合に、次のような問題が発生する場合があります。

- 接続した機器がまったく認識されない
- 本パソコンを起動するたびに、接続した機器が検出される
- 同じ機器を接続しても、検出されたり、検出されなかったりする
- 接続した機器の動作が不安定になる

上記のような問題が発生する場合、次の方法で回避できる場合があります。

- Windows98 を起動したあとに、パラレルコネクタに接続した機器の電源を入れる
- ドライバのインストールがうまくいかない場合は、「スタート」→「設定」→「プリンタ」をクリックし、「プリンタの追加」からインストールする

上記の手段は一例です。詳しくは、ご購入になった機器のメーカーに問い合わせるか、機器に添付のマニュアルをご覧ください。

A21.Office 2000 Personal について

(Office 2000 Personal モデルのみ)

- Office アシスタント(ご購入時はイルカに設定されています)を表示して操作をしているときに、Office アシスタントの一部などの残像が残る場合があります。この場合は、残像が残ったウィンドウを次の手順で再表示すると、残像は消えます。

1. ウィンドウの右上にある最小化ボタンをクリックし、アプリケーションを最小化します。
2. タスクバーに最小化されたアプリケーションのボタンをクリックすると、元の大きさに戻り、再表示されます。

なお、ご購入時の状態では、次の操作をしたときに、残像が残る場合があることが確認されています。

- Excel2000 などの「印刷プレビュー」のウィンドウをスクロールしたとき
- Excel2000 などで、描画した図形を移動したとき
- Office アシスタントをドラッグして移動したとき

なお、この場合は、「FM 便利ツール」のマスコットや、「サンリオアクセサリー」の「アナログ時計」など、四角ではないウィンドウをドラッグして移動したときにも、残像が残る場合があります。

- Excel2000 をお使いの場合、次の状態のときはシート名を変更しないでください。
ー描画した図形や、貼り付けたオブジェクトなどを選択した状態(図形などの回りに□が表示されている状態)。

この状態でシート名を変更すると、エラーメッセージが表示され、Excel2000 が終了してしまう場合があります。この場合は、作成中のデータは保存されません。ご注意ください。

なお、このあと引き続き本パソコンをお使いになる場合は、Windows98 を再起動してからお使いください。

- Excel2000 または Word2000 をお使いのときに、「挿入」メニューの「図」から「クリップアート」を選択し、「クリップアートの挿入」ウィンドウを表示している場合は、省電力機能を働かせないでください。「クリップアートの挿入」ウィンドウを表示したまま省電力機能を働かせると、エラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、エラーメッセージのウィンドウで「閉じる」をクリックすると、省電力機能が働きます。

なお、省電力状態から復帰したあと、引き続き本パソコンをお使いになる場合は、Windows98 を再起動してからお使いください。

- Outlook2000 を初めて起動したときに、競合を解消するかどうかをたずねるメッセージが表示される場合があります。この場合は、「はい」をクリックしてください。
- MS-IME2000 は、Windows98 標準の MS-IME98 を置き換える形でインストールされています。「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」からセットアップダイアログを起動しても、「すべて削除」が選択できずアンインストールできません。

A22.Microsoft® Photo Editor について

(Office 2000 Personal モデルのみ)

- Microsoft® Photo Editor で、「効果」メニュー内の項目を実行したあとに「イメージ」メニューの「調整」を行うと、画像の一部分にしか調整が適用されない場合があります。この場合は、次の手順に従って、効果、調整の適用を行ってください。

1. 「効果」メニューの項目(例: テクスチャ)を選びます。
次のようなメッセージが表示されたら「はい」をクリックします。
「この効果を適用するには、イメージを 24 ビットの RGB カラーに変換する必要があります。変換しますか?」
2. 選択した効果の適用を行います。
3. 「ファイル」メニューの「名前を付けて保存」をクリックし、ファイルを保存します。
4. 「ファイル」メニューの「閉じる」をクリックし、ファイルを閉じます。
5. 「ファイル」メニューの「開く」をクリックし、手順 3. で保存したファイルを再度開きます。
6. 「イメージ」メニューの「調整」を行います。
調整が画像全体に適用されます。

- Microsoft® Photo Editor のウィンドウの上で他のウィンドウを移動すると、移動したウィンドウの輪郭などが Microsoft® Photo Editor のウィンドウに残る場合があります。この場合は、Microsoft® Photo Editor のウィンドウを、次の手順で再表示すると、輪郭などは消えます。

1. ウィンドウの右上にある最小化ボタンをクリックし、アプリケーションを最小化します。
2. タスクバーに最小化されたアプリケーションのボタンをクリックすると、元の大きさに戻り、再表示されます。

- Microsoft® Photo Editor の「効果」メニューの各機能をお使いのときに、表示されたウィンドウの「プレビュー」の個所に「メモリ不足です」と表示される場合があります。この場合は、次の方法で回避できる場合があります。

- ハードディスクの空き領域を 1.33GB 以上にする。

ハードディスクの空き領域を増やす方法については、添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』をご覧ください。

- 「システムのプロパティ」(「コントロールパネル」の「システム」アイコンをクリックすると表示されます)の「パフォーマンス」タブにある「グラフィックス」をクリックし、「ハードウェア アクセラレータ」を「なし」に設定する。

この設定を変更したあと、本パソコンの再起動が必要です。設定を変更する前に、必要なデータはすべて保存し、起動しているアプリケーションはすべて終了してください。

- Microsoft® Photo Editor の「効果」メニューの「ノートペーパー」はお使いになれません。あらかじめご了承ください。

なお、下記のアドレス(URL)より修正モジュールをダウンロードすれば使用可能です。

<http://officeupdate.microsoft.com/japan/downloaddetails/2000/notepape.htm>

A23.VirusScan について

- エマージェンシーディスクの作成には、MS-DOS プロンプトで次のように入力し初期化したフロッピーディスクをお使いください。

Format A: /S

- ウィルスのスキャン中は、別のアプリケーションをお使いになるなど、他の操作を行わないでください。他の操作を行うと、まれにエラーメッセージが表示される場合があります。

A24.アプリケーション「FAX 留守番電話」について

「FUJITSU FAX Print Driver」は、「FAX 留守番電話」をアンインストールするとお使いになれなくなります。

A25.「FM かんたんバックアップ/データ」について

- FMかんたんバックアップのバックアップや復元処理中に、タブの切り替えをしないでください。
- 複数のユーザを設定してお使いのときに、「FM かんたんバックアップ/データ」で「複数ユーザ登録時データ」を復元する場合は、いったんログオフし、ユーザ名の選択時に「キャンセル」をクリックしてログオンし直したあと行ってください。そのまま復元を行うと、「index をコピーできません。」というエラーメッセージが表示される場合があります。エラーメッセージが表示された場合は、「OK」をクリックして復元処理を終了させたあと、前述のようにログオンし直して再度復元を行ってください。

A26.ACPI の設定でネットワーク上のファイルを利用する場合の注意

ACPI の設定でネットワーク上のファイルを編集しているときは、省電力機能を働かせないでください。省電力状態になると、編集中のファイルが正しく保存できない場合があります。

A27.FrontPageExpress をお使いになりたい場合

本パソコンでは、「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」から FrontPage Express を追加インストールすることはできません。インターネットにある Microsoft のホームページよりダウンロードしてください。アドレス(URL)は次のとおりです。

<http://windowsupdate.microsoft.com/>

A28.Direct X 対応のソフトをお使いになる場合

本パソコンにインストールされているディスプレイドライバは Direct X6.1 対応であり、Direct X1、X2、X3、X5、X6 のランタイムはインストールすることができません。必ず Direct X6.1 のランタイムをお使いください。

A29.ホームページが文字化けする場合

ホームページを表示したとき、文字化け(本来の文字とは全く関係のない文字が表示されること)する場合があります。この場合は、次の手順で正しく表示される場合があります。

1. 「表示」メニューをクリックします。
2. 「エンコード」にマウスポインタを合わせ、「日本語(自動選択)」をクリックします。
それでも正しく表示されない場合は、次の手順を試してください。
1. 「表示」メニューをクリックします。
2. 「エンコード」にマウスポインタを合わせ、「日本語(シフト JIS)」,または「日本語(EUC)」をクリックします。
それでも正しく表示されない場合は、次の手順を試してください。
1. 「表示」メニューをクリックします。
2. 「エンコード」の「自動選択」にチェックマークがついていないことを確認します。
チェックマークがついている場合は、クリックしてチェックマークを外します。

A30.MS-DOS のアプリケーションをお使いの場合

Windows 上で MS-DOS のアプリケーションをお使いになったあと、Windows のアイコンなどが崩れて表示される場合があります。この場合は、一度本パソコンを再起動させてお使いください。

A31.システムリソースについて

- アプリケーションを使用中または起動時に「リソース不足です」という旨のメッセージが表示され、操作を続行できなくなる場合があります。この場合はシステムリソースの残りを増やすと、解消できる場合があります。一時的にリソースの残りを増やすには、次の手順に従って、使用していないアプリケーションを終了させてください。
 1. 終了させたいアプリケーションがタスクトレイに表示されている事を確認します。
 2. タスクトレイに表示されているアイコンを右クリックまたは左クリックします。
 3. 表示されたメニューの中から「終了」または「～を閉じる」という旨のメニューをクリックします。
※ 終了方法はアプリケーションにより異なります。詳しくは、添付のマニュアルや各アプリケーションのヘルプなどをご覧ください。
- アプリケーションの追加やハードウェアの追加を行うと、リソース不足が常に出てしまうことがあります。このような環境の場合は、次の手順に従って、使用していないアプリケーションの自動起動を外してください。
 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」、「システムツール」の順にマウスポインタを合わせ、「システム情報」をクリックします。
 2. 「ツール」メニューの「システム設定ユーティリティ」をクリックします。
 3. 起動したシステム設定ユーティリティの「スタートアップ」タブをクリックします。
 4. 枠中に表示された一覧から、チェックのついている口をクリックし、チェックをはずします。

例: プレインストールされているアプリケーションの自動起動をやめる場合。

アプリケーション名	プログラム名	自動起動をやめた場合に使用できなくなる主な機能
ウイルススキャン	Vshwin32.EXE McAfeeWebScanX AvconsoleEXE、VsStatEXE	自動のウイルス検索 (手動にてウイルス検索を行ってください)
Hatch inside	Hatchinside.exe	短縮番号でのインターネットアクセス
FM便利ツール	FM 便利ツール	ワンタッチボタン等の FM 便利ツールの機能
Real Player G2	RealTray	ソフトウェア更新情報やヘッドラインの自動チェック機能

A32.モデムの通信中もしくは着信時の注意事項

本パソコンの内蔵モデムに電話機を接続してご使用になる場合、データ通信中は受話器を外さないようにしてください(データ通信中に電話機の受話器が外れると、回線に受話器からの音声が入り込むことにより、データが正しく伝送されなくなる場合があります)。また、本パソコンの内蔵モデムと電話機との同時使用は出来ません。なお、FAXや自動着信するモデムなどの種類によっては、本パソコンの内蔵モデムに接続すると誤動作を生ずる場合があります。ご了承ください。

● 機種別情報

a1.USB マウスについて

MEシリーズのみ

Windows98 の Safe モード、DOS モードでは USB マウスをサポートしていません。Safe モードでパソコンが起動した場合は、キーボードで次の操作を行い本パソコンを再起動してください。

1. 「Windows」キーを押します。
2. 「↑」キーを押します。
3. 「Enter」キーを押します。
4. 「↑」キーと「↓」キーで「再起動する」を選択します。
5. 「Enter」キーを押します。

なお、キーボードでも操作することができます。

- 「Windows」キー : スタートメニューを開くことができます。
- 「TAB」キー : 項目を移動する事ができます。
- 「↑」、「→」、「↓」、「←」キー : リストの中のカーソル(青の反転表示)を移動することができます。
- 「ALT」キーと「TAB」キー同時押下 : アクティブウインドウを切り替えることができます。
- 「ALT」キーと英字キー同時押下 : アクティブウインドウのメニューを開くことができます。
- 「Enter」キー : 反転表示されている項目を選択します。
- 「ESC」キー : 取り消しします。

たとえば、「Windows」キーを押し、「↑」キーで「設定」にカーソルを合わせ、「→」キーで表示されるメニューの「コントロール パネル」にカーソルがあることを確認して「Enter」キーを押すと、コントロールパネルを起動することができます。

a2.USB キーボードについて

Mシリーズ、MEシリーズのみ

WindowsNT4.0をお使いになる場合は、添付のUSBキーボード・マウスはお使いになれません。別売のPS/2インタフェースのキーボード、マウスをお使いください。

Mシリーズのみ

WindowsNT4.0をお使いになる場合は、BIOS セットアップの設定で、「詳細設定」の「内蔵デバイス設定」を選択し、「USB コントローラ」を「使用しない」に設定してください。

MEシリーズのみ

MS-DOS モード、Safe モードではUSBキーボードのランプは点灯しません。また、キーボード上部のワンタッチボタンはお使いになれません。ワンタッチボタンは押さないでください。

a3.USB 機器の接続について

Mシリーズ、MEシリーズのみ

電源が入っている状態で、USB コネクタを抜き差しすると、まれにキーボードとマウスが使用できなくなったり、接続した USB 機器が正しく動作しないことがあります。電源スイッチを押してシステムをシャットダウンしたあと、再度電源スイッチを押してください。

a4.スピーカーフォン機能について

Kシリーズ、Cシリーズ、Mシリーズ、MEシリーズのみ

内蔵モデムではスピーカーフォン機能はお使いになれません。あらかじめご了承ください。

a5.通信切断時の音声について

Gシリーズ、MEシリーズのみ

回線切断時や通信アプリケーション終了時に、音声が連続音になったり途切れたりすることがありますが、故障ではありません。

a6.C3/60L,C3/55L,C3/50L におけるデジタル液晶ディスプレイについて

C3/60L,C3/55L,C3/50L のみ

デジタル液晶ディスプレイを使用する際は、必ずディスプレイの電源コネクタを本体のアウトレットに接続するか、本体の電源を ON にする前に、必ずデジタル液晶ディスプレイに電源が供給されている状態でお使いください。起動後にディスプレイの電源を ON にしても、画面が真っ暗なままで何も表示されません。

a7.PCI 規格の拡張カードを増設する場合

C シリーズ

本パソコンでは、Intel® 810e Chipset を使用しております。拡張カードは、Intel® 810e Chipset にて動作することをご確認のうえご購入ください。

M シリーズ

本パソコンでは、CPU に AMD 社製 Athlon™ プロセッサを使用しております。
拡張カードは、AMD 社製 Athlon™ プロセッサにて動作することをご確認のうえご購入ください。

a8.画面が中央に表示されない場合

K シリーズを除く

アナログディスプレイ接続時、画面が中央に表示されない場合は、ディスプレイにあった周波数が設定されているか確認してください。それでも中央に表示されない場合は、ディスプレイ側で調整を行ってください。

a9.ディスプレイの交換について

C シリーズ

ディスプレイを、別のディスプレイに交換する際には、解像度は 640×480 に、リフレッシュレートは「アダプタの既定値」に設定してから交換してください。それ以外を設定している場合、ディスプレイ交換後のディスプレイの仕様によっては、画面が表示されない場合があります。また、お使いになるモニタ(特に LCD モニタやプラズマモニタ)によっては、モニタの種類を「プラグアンドプレイモニタ」の設定でお使いになると正常に表示される場合があります。デジタルインタフェースはセット販売されているモニタ以外の接続はできません。

a10.システム起動時の画面の乱れについて

K シリーズ,C シリーズのみ

システム起動時(開封契約時を含む)やシステム終了時、VirusScan のウィンドウが表示される際、一瞬画面が乱れたり、帯状のゴミがのようなものが表示されることがあります。故障ではありませんので、そのままお使いください。

a11.PC カードをお使いになる場合

K シリーズのみ

お使いになる PC カードによっては、PC カードをセットすると音量が最大になり、音量調節が効かなくなることがあります。この場合は、PC カードをセットした状態で、いったん本パソコンの電源を切り、再度、電源を入れなおしてお使いください。

a12.CD-ROM「かるがるパソコン入門」をお使いの方へ

K シリーズ,M シリーズのみ

CD-ROM「かるがるパソコン入門」使用中に、スタンバイ(省電力)機能が働くと、復帰時に本パソコンが正常に動作しなくなることがあります。使用中にスタンバイ機能が働かないようにするため、次の点にご注意ください。

- キーボードのスタンバイボタンを誤って押さないようご注意ください。
- 操作を中断する際はそのまま放置せず、「かるがるパソコン入門」を終了してください。

第2章 必要に応じてお読みください

● 全機種情報

B1. キーボードの種類について

本パソコンに添付されているキーボードは、「109 日本語キーボード」という種類です。しかし、「システムのプロパティ」ウィンドウでは「106 日本語キーボード」と表示されています。アプリケーションをインストールしたときに、キーボードの種類を選択する場合がありますが、この場合は「106 日本語 (A01) キーボード (Ctrl+英数)」を選んでください。

B2. 画面の表示色について

画面の表示色を変更すると(256色に変更したときは特に)、次のようになる場合があります。

- スクリーンセーバーから復帰したときに、背景の色が反転して表示される
- アプリケーションによっては、色が正しく表示されない
- アプリケーションによっては、ウィンドウを切り替えたときに異常な色で表示される

アプリケーションのマニュアルで特に色数を変更する指示がない場合は、ご購入時の色数でお使いください(ご購入時の色数については、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』をご覧ください)。別途市販のアプリケーションをご購入したい場合は、各アプリケーションに記載されている動作環境をご確認のうえ、ご購入ください。

B3. 画面の解像度や色数の変更について

- 画面の色数および解像度を変更したとき、デスクトップ上の FMV サービスチャンネルなどの位置がずれる場合や、一部のアプリケーションでウィンドウが画面からはみ出す場合があります。この場合は、ウィンドウをドラッグして正しい位置に移動するか、色数および解像度を元の状態に戻してください。
- 「画面のプロパティ」ウィンドウ(「コントロールパネル」の「画面」をクリックすると表示されます)で解像度や色数を変更したとき、Windows98の再起動が必要な場合は、「互換性の警告」ウィンドウで「再起動しないで新しい色の設定を適用する」を選択し、「スタート」ボタンの「Windowsの終了」から再起動することをお勧めします。「互換性の警告」ウィンドウから Windows98 を再起動したとき、まれにシステムが停止する場合があります。この場合は、「Ctrl」キーと「Alt」キーを押しながら「Delete」キーを押して、Windows98 を再起動してください。
- 解像度を変更した直後に、日本語入力システムのツールバーを移動すると、移動する前の位置にツールバーが表示されたままになる場合があります。この場合は、デスクトップの何も表示されていないところ(アイコンやウィンドウなどが表示されていないところ)をクリックしてください。元の位置のツールバーが消えます。

B4. グラフィックの性能について

本パソコンのグラフィック性能については、環境設定および使用するアプリケーションによって異なります。

B5. 画面にアイコン表示やウィンドウの一部やウィンドウの中に再描画されない部分が残ってしまった場合

アプリケーションをお使いになっているときに、アイコン表示やウィンドウの一部などが画面に残ってしまう場合があります。また、アプリケーションのウィンドウ内で、再描画されない部分がありゴミが残っているように見える場合があります。この場合は、次のいずれかの手順で、ウィンドウの再表示を行ってみてください。

その1

1. ウィンドウの右上にある最小化ボタンをクリックし、アプリケーションを最小化します。
2. タスクバーに最小化されたアプリケーションのボタンをクリックすると、元の大きさに戻り、再表示されます。

その2

1. ウィンドウの右上にある最小化ボタンをクリックし、アプリケーションを最小化します。
2. タスクバーに最小化されたアプリケーションのボタンをクリックすると、元の大きさに戻り、再表示されます。

B6. デスクトップの壁紙について

- アクティブデスクトップでは、画像データをデスクトップの壁紙にする機能(「らくらく写真館」など)が、正しくお使いになれない場合があります。この場合は、「画面のプロパティ」の「Web」タブの「Active Desktop を Web ページとして表示」のチェックマークを外してください。
- 拡張子が「htm」のファイルを壁紙にしたとき、ファイルによっては正しく表示や操作ができない場合があります(フレーム表示を設定した.htm ファイルを壁紙に設定した場合など)。

B7. タイトルバーのグラデーションについて

画面の設定後、再起動を行わないと、タイトルバーのグラデーション表示が単色になる場合があります。この場合は、「画面のプロパティ」の「デザイン」タブにある「アクティブタイトルバー」の色の設定を、いったん他の色に設定し、そのあと元の色に設定し直してください。

B8. タスクバーに起動していないアプリケーションのボタンが表示される場合

- スクリーンセーバーから復帰後「Screen Saver」や名前のないボタンがタスクバーに表示される場合があります。動作には問題ありませんのでそのままお使いください。
- まれに「msime98mode」という名称のボタンがタスクバーに表示される場合があります。動作には問題ありませんのでそのままお使いください。なお、Windows98 を再起動すると、このボタンは消えます。

B9. 日本語入力システムについて

MS-DOS プロンプトを起動して日本語入力システムをオンにしたあと、「Alt」キーを押しながら「Tab」キーを押してアクティブウィンドウを切り替えたときに、MS-DOS プロンプトで日本語が入力できなくなる場合があります。この場合は、MS-DOS プロンプトを起動し直してください。

B10. 省電力機能について

- **電源の管理について**
動作環境によっては、電源制御が設定時間どおりに動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- **CRT ディスプレイをお使いの方へ**
省電力機能から復帰するとき、一瞬アイコンが大きく表示されてすぐ元に戻る場合がありますが、故障ではありません。また、省電力機能から正常に復帰しない場合は、スタンバイ・ボタンを押し、いったん省電力機能を働かせてから、再度スタンバイ・ボタンを押して復帰してください。

B11. LAN カード接続時の省電力機能について

本パソコンでは、TCP/IPまたはIPXのプロトコルを設定の場合、ネットワーク環境において省電力機能を使用することができます。

ただし次の設定において省電力機能を使用すると、復帰後に正常に通信ができなくなったり、不具合が発生する場合があります。これらの設定では省電力機能を使用しないでください。

- ネットワーク環境で通信中、またはネットワーク上の他のパソコンのファイルを使用中に手動(電源スイッチの押下や、スタートメニューからのスタンバイ選択)により省電力モードへ移行する
- 省電力機能に対応していない通信アプリケーションソフトを使用する
(事前にご使用のアプリケーションソフトが省電力機能に対応しているかどうかご確認ください)
- 省電力モードへ移行したときに、次のメッセージが表示され、「はい」を選択した場合
<ポップアップメッセージ>

【共有】

XX個のファイルが、このコンピュータに接続しているユーザによって開かれています。
コンピュータを停止するとファイルは強制的に閉じられ、ファイルを使っていたユーザはデータを失う可能性があります。
続けますか？

B12.USB キーボードについて

- 「コントロールパネル」の「ハードウェアの追加」を行うと、操作の途中で、インストールするデバイスの一覧に、「！」マークが付いた「PS/2 互換マウスポート」が表示されます。この表示は、お使いになるうえでまったく問題はありません。上記のデバイスは選択せずに操作を続けてください。
- 「コントロールパネル」の「ユーザー補助」内の「フィルタキー機能」の「設定」にて「ショートカットキーを使う」を有効とし、「右 Shift」キーを 8 秒以上押し続けてもショートカットが効きません。コントロールパネルから「フィルタキー機能」の設定メニューを開くようにしてください。

B13.コントロールパネルについて

「コントロールパネル」ウィンドウでアイコンを選択したときに、ウィンドウの左側(選択したアイコンの情報が表示される部分)が正しく表示されない場合があります。この場合は、次の手順でウィンドウを再表示すると正しく表示されます。

1. ウィンドウの右上にある最小化ボタンをクリックし、アプリケーションを最小化します。
2. タスクバーに最小化されたアプリケーションのボタンをクリックすると、元の大きさに戻り、再表示されます。

B14.「コントロールパネル」の「マルチメディア」について

「マルチメディアのプロパティ」ウィンドウ(「コントロールパネル」の「マルチメディア」をクリックすると表示されます)の「MIDI」タブにある、「単一の機器」の設定によっては、正しく音が再生されない場合があります。この場合は、「単一の機器」の設定を変更してください。

B15.「コントロールパネル」の「日付と時刻」について

「日付と時刻のプロパティ」ウィンドウ(「コントロールパネル」の「日付と時刻」をクリックすると表示されます)で日付や時刻を変更したあと、「適用」をクリックして設定した場合は、「OK」をクリックして「日付と時刻のプロパティ」ウィンドウを閉じてください。「キャンセル」または「閉じる」ボタンで閉じると、変更した結果が正しく設定されない場合があります。

B16.「コントロールパネル」の「システムのプロパティ」について

「コントロールパネル」の「システムのプロパティ」で表示されるメモリ容量は、実装されているメモリ容量より、少なく表示される場合があります。これはメモリの一部をハードウェアが使用しているためであり、誤表示ではありません。実装されているメモリ容量の正しい値は、BIOS セットアップで確認することができます。BIOS セットアップについては、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』をご覧ください。

B17.デフラグやスキャンディスクの実行について

- Windows98 のスキャンディスクを実行中に、次のような警告メッセージが表示されることがあります。
「Windows または他のアプリケーションがこのドライブに書き込みを行っているため、再試行回数が 10 回に達しました。実行中の他のアプリケーションを終了すると、チェックが早く行われます。今後もこの警告メッセージを表示しますか？」
この警告メッセージはアプリケーションや、Windows98 のメモリスワップ機能が、ディスクに書き込みを行っているために表示されるもので、本パソコンの異常を表わすものではありません。
「いいえ」をクリックして今後このメッセージを表示しないようにするか、または「はい」をクリックしてそのまま処理を続けてください。
- デフラグやスキャンディスクを実行中に、処理が止まるなど正しく動作しない場合は、起動しているアプリケーション(VirusScan などの常駐アプリケーションも含め)をすべて終了させてから、改めてデフラグやスキャンディスクを実行してみてください。

B18.「アクセサリ」の「Windows Media Player」について

「アクセサリ」の「Windows Media Player」で、8bit モノラルの WAVE ファイルを再生するとき、再生開始時に「ブツ」と音がする場合がありますが、故障ではありません。

B19.「アクセサリ」の「ペイント」について

ペイントにビットマップを貼り付け、保存せずに終了すると、保存を確認するメッセージが表示されます。そのとき「はい」をクリックして保存すると、データの色数が 256 色のときにはビットマップの色が正常に保存されない場合があります。ペイントを終了するときは、「ファイル」メニューの「上書き保存」または「名前を付けて保存」をクリックし、ビットマップを保存してから終了してください。

B20.「アクセサリ」の「拡大鏡」について

「アクセサリ」の「ユーザー補助」の「拡大鏡」は、次の操作を行うときは終了してください。

- 起動時に画面の解像度が変わるアプリケーションをお使いになるとき
- Windows98 を終了するとき

拡大鏡を起動したまま上記の操作を行うと、拡大鏡や壁紙が正しく表示されなくなる場合があります。拡大鏡が正しく表示されないときは、拡大鏡を再起動してください。壁紙が正しく表示されないときは、Windows98 を再起動してください。

B21.「アクセサリ」の「ハイパーターミナル」について

- データ送受信中に通信に失敗する場合があります。この場合は、次のいずれかの方法でお使いください。
 - 他の通信ソフトウェアを使用する(例 NIFTY Manager)
 - 他の通信速度のアクセスポイントに変更する
 - 他の通信プロトコルを使用する(例 ZMODEM など)
- 次の状況では、ハイパーターミナルが誤動作する場合があります。この場合は、一度本パソコンを再起動し、モデムケーブルが正しく接続されているか、設定内容が正しいかを確認してください。
 - モデムケーブルを接続しないで電話をかける
 - PBX回線にて、トーンを待ってからダイヤルする設定にして電話をかける

B22.アプリケーションソフトについて

アプリケーションソフト(ゲームソフトを含む)が正常に動作しない場合は、設定の色数を変更するか、次の手順で正常に動作する場合があります。

- 「システムのプロパティ」(「コントロールパネル」の「システム」アイコンをクリックすると表示されます)の「パフォーマンス」タブにある「グラフィックス」をクリックし、「ハードウェア アクセラレータ」を「なし」に設定する。この設定を変更したあと、本パソコンの再起動が必要です。設定を変更する前に、必要なデータはすべて保存し、起動しているアプリケーションはすべて終了してください。

なお、上記の手順を行っても、アプリケーションによっては性能低下や音声ノイズなどの問題が発生する場合があります。

B23.アプリケーションのヘルプについて

アプリケーションのヘルプをお使いのときに、選択した項目の説明が表示されず、次のようになる場合があります。

- 「このトピックは存在しません。」「○○○.hlp ファイルが見つかりません。」といったメッセージが表示される
- 何も説明が表示されない(反応がない)
- 意味不明の説明が表示されるなど

このような場合でも、アプリケーションの動作には問題ありませんので、そのままお使いいただいてもかまいません。また、このような場合の詳しい対応については、各アプリケーションの開発メーカーにお問い合わせください(お問い合わせ先については、添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』の巻末をご覧ください)。

B24.アプリケーションのインストールおよびアンインストールについて

アプリケーションをインストールおよびアンインストールする際の注意は、添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』の「アプリケーションのインストール/削除」にも記載されています。あわせてご覧ください。

- Acrobat Reader4.0 をアンインストールしたあと、再度インストールすると、「バージョンの競合」ウインドウが表示される場合があります。この場合は、「はい」をクリックしてください。
- ゼンリン電子地図帳ZⅡをインストールするときに、「読み取り専用ファイルの検出」ウインドウが表示される場合があります。この場合は、「はい」をクリックしてください。

B25.アプリケーションの「送信」機能をお使いになる場合

アプリケーションのデータをメールで送信する機能（「ファイル」メニューの「送信」、「メールで送信」などの機能）をお使いになるときは、あらかじめ、Outlook Expressなどを起動して、通常使用するメールクライアントとして選択しておいてください。

選択していないときにこの機能をお使いになると、アプリケーションが反応しなくなる場合があります。この場合は、添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』の「Q 操作中に動かなくなった」をご覧ください、アプリケーションを強制終了してください。

なお、あらかじめインストールされているアプリケーションのうち次のアプリケーションで、前述のようになる場合があることが確認されています。

- Word2000 (Office 2000 Personal モデルのみ)
- Excel 2000 (Office 2000 Personal モデルのみ)
- 「アクセサリ」の「ペイント」

B26.音の出るアプリケーションをお使いになる場合

音の出るアプリケーション(ゲームなど)を複数同時にお使いになると、正しく音が出なくなる場合があります。音の出るアプリケーションは単独でお使いになることをお勧めします。

B27.印刷プレビューについて

アプリケーションに印刷プレビュー機能が用意されている場合、その機能での表示が、実際の印刷結果と多少異なる場合があります。この場合でも、印刷は正しく行われますのでご了承ください。

B28.WAKE UP 機能について

本パソコンの内蔵モデムで WAKE UP を行う場合、「マイクロソフト 仮想プライベート ネットワーク アダプタ」がインストールされていると WAKE UP 時にモデムが使用できません。この場合は、アダプタを削除してください。

B29.RealPlayer について

本パソコンにインストールされている RealPlayer では、データによっては正しく再生できなったり、エラーメッセージが表示されたりする場合があります。RealPlayer は、最新版をダウンロードしてお使いになることをお勧めします。最新版などの情報は、次の手順で入手してください。

1. RealPlayer を起動し、メニューバーの「サイト」をクリックします。
2. 表示されたメニューの「RealNetwork Home Page」をクリックします。

B30.インターネット上で RealAudio ファイル/ShockWave ファイルの再生について

インターネット上で RealAudio ファイルおよび ShockWave ファイルを再生するとき、音が途切れる場合がありますが、故障ではありません。

B31.通信などでパソコンから電話をかける場合

- お住まいの地域の局番が変更された場合は、ダイヤルのプロパティの設定を新しい市外局番に合わせて変更してください。

例:「0423-70-XXXX」から「042-370-XXXX」に変更された場合
変更方法は次のとおりです。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
 2. 「テレフォニー」をクリックします。
 3. 「市外局番」に設定している番号を変更し、「OK」をクリックします。
- お住まいの市外局番と同じ市外局番の別地域に電話するとき、市外局番がダイヤルされないため電話がつながりません。この場合は、一時的にダイヤルのプロパティの市外局番の設定を、別の市外局番に設定してからお使いください。
設定方法は次のとおりです。
1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。

2. 「テレフォニー」をクリックします。
3. 「市外局番」に設定している番号を変更し、「OK」をクリックします。
例:042→044 など
現在お使いの市外局番とは違う市外局番にしてください。

使用後は、必ず元の市外局番に戻してください。

B32.USB 機器の増設について

複数のUSB機器を増設して同時に使用した場合、USB機器の動作が不安定になる場合があります。この場合は、使用する機器だけをUSBポートに接続してお使いください。

B33.Microsoft Exchange および Microsoft Fax について

Windows95 で用意されていた Microsoft Exchange および Microsoft Fax は、Windows98 には用意されていません。あらかじめご了承ください。

B34.Microsoft NetMeeting について

- ご使用方法によっては「通話」-「ディレクトリ」-「通話先の検索」をから、Hotmail アカウントの取得と MSN Messenger2.0 のダウンロードを行う必要があります。あらかじめご了承ください。
- Microsoft NetMeetingをお使いの直後は、Microsoft NetMeeting内のマイク感度の設定が最大になっています。入力した音声反響する場合は、Microsoft NetMeeting内のマイク感度の設定を下げてください。

B35.Outlook Express について

- Outlook Expressを初めて起動したときに、Outlook Expressは通常使用するメールクライアントとして選択されていない旨のメッセージが表示される場合があります。この場合は、「はい」をクリックしてください。
なお、Office 2000 Personal モデルをお使いの方は、前述のメッセージで「はい」をクリックしたあと、さらに「Microsoft Outlook を起動して、デフォルトのメールクライアントに指定してください。」というメッセージが表示される場合があります。この場合は、「OK」をクリックしてください。また、メールソフトとして Outlook Express を通常お使いになる場合は、このあと次の設定を確認してください。
 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
 2. 「インターネットオプション」をクリックし、「プログラム」タブをクリックします。
 3. 「電子メール」の欄が「Outlook Express」になっているか確認します。
「Outlook Express」以外に設定されている場合は、「Outlook Express」に変更します。
 4. 「OK」をクリックし、「コントロールパネル」ウィンドウを閉じます。
- Outlook Express のプレビューウィンドウで、全角文字を含んだファイル名のファイルが添付されたメッセージを表示すると、意味不明の文字が表示される(文字化けする)場合があります。この場合は、文字化けするメッセージをダブルクリックし、メッセージ用のウィンドウに内容を表示すると、正しく表示されます。

B36.Outlook2000 について

(Office 2000 Personal モデルのみ)

「挿入」メニューの「オブジェクト」を使って、動画ファイルや音声/音楽関連ファイルを貼り付けた場合に、貼り付けたファイルの再生や編集ができない場合があります。あらかじめご了承ください。

B37.Lotus 1-2-3 2000 について

(一太郎,OASYS モデルのみ)

「ファイル」メニューの「インターネット」の「Web からデータの読み込み」でデータを読み込んだ場合に、データによっては日本語が正しく表示されない場合があります。

B38.Net-It Now!について

(一太郎,OASYS モデルのみ)

- **Net-It Now!とは**
1-2-3 2000 でワークブックやワークシートまたは範囲をjDOC形式という Web ブラウザで表示できる形式に変換するためのプログラムです。1-2-3 2000 上で、「インターネット」-「Webページ変換」メニューを使用して変換してください。
- **Net-It Now!のプリンタドライバについて**
1-2-3 2000 上でjDOC形式という Web ブラウザで表示できる形式に変換するには、Net-It Now!プリンタドライバを使用します。Net-It Now!プリンタドライバは、1-2-3 2000 をインストールすると、自動的にインストール及びセットアップされるため、特に設定する必要がありません。Net-It Now!がインストール/セットアップされている環境では、Windows の「プリンタ」ダイアログボックスに Net-It Now!のアイコンが登録されます。ただし、Net-It Now!は、1-2-3 2000 またはその他のスーパーオフィス 2000 製品以外のアプリケーションから使うことはできません。

B39.「Word2000&Excel2000 の虎の巻」、「一太郎 10&Lotus1-2-3 2000 の虎の巻」について

デモ画面を再生中に、マウスをクリックすると再生が中止される場合があります。この場合は、もう一度マウスをクリックすると再開されます。

B40.OASYS について

(OASYS モデルのみ)

- OASYS Image では、元の形式から異なる形式への変更はできません。あらかじめご了承ください。
- 長い名前のフォルダ (My Documents フォルダなど) に保存した、拡張子が「pcd」などのファイルを OASYS Image で開こうとすると、ファイルが正しくない旨のエラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、ファイルの保存先を変更してから開いてください。
- OASYS Image ではプレビューを有効にしたまま pcd ファイルを開くことができない場合があります。あらかじめご了承ください。エラーメッセージが表示された場合は「閉じる」をクリックしてください。pcd ファイルを開く場合は「開く」ウィンドウで「文字だけ」ボタンをクリックし、プレビューを無効にしてください。
- OASYS マニュアルをお使いになる場合は、OASYS の CD (データディスク) をセットしてから起動してください。CD-ROM をセットしなかった場合は CDView が起動します。
- 「デスクトップ」には、一太郎など他社の形式で文書を保存できません。

B41.OASYS (V7.0) の「ユーザ定義文字の変換」について

(OASYS モデルのみ)

OASYS V7.0 の「ユーザ定義文字の変換」は、OASYS V4.1 以前の漢字フォントエディタで作成されたユーザ定義文字(外字)を、OASYS V7.0 で利用できる Windows 外字に変換する機能です。ご購入時の状態ではご使用になれません。

B42.FM 手帳について

- FM 手帳をお使いのときに、次のようなメッセージが表示される場合があります。
「[住所録データの新規作成/編集]ダイアログボックスが開けません。他のアプリケーションを終了させてください。」
この場合は、起動しているアプリケーションをすべて終了し、パソコンの電源を一度切ってください。そのあと、パソコンを再度起動し、操作し直してください。
- **「FK シンボルゴシック」フォントについて**
「FK シンボルゴシック」フォントは、ご購入時の状態ではお使いになれません。そのためフリーダイヤルのマーク等がご利用できません。お使いになる場合は、「C:\Program files\Pim\Fonts\F5dyfksq.ttf」ファイルを「C:\Windows\Fonts\F」フォルダにコピーしてください。ただし、ファイルをコピーすると、「Visual Basic Editor」(Word2000 または Excel2000 の「ツール」メニューの「マクロ」から起動できます) で表示される文字が正しく表示されませんので、あらかじめご了承ください。
また、FM 手帳をフォントと共に再度インストールした場合も、「Visual Basic Editor」での表示が前述のようになります。この場合は、「C:\Windows\Fonts\F5dyfksq.ttf」ファイルを削除してください。

B43.FM 便利ツールについて

- CD-ROMを使ったアプリケーションの使用時、キーボード上の Stop/Eject(停止/取り出し)ボタンは押さないでください。Stop/Eject ボタンを押すと CD-ROM が取り出されます。これによりアプリケーションが誤動作したり、システムが停止する場合があります。
- 「ユーザ変更」にてユーザを変更しようとする場合、パスワードの入力を求められます。パスワードを忘れてしまった場合や、パスワードを設定していない場合には、SUPERWORD の9文字の英字を、パスワードとして入力してください。ユーザを変更することができます。
- FM 便利ツールの CD プレーヤーで、曲間に切れ目がない音楽 CD(「ノンストップ」の表記があるものなど)を再生すると、曲間で音飛びが発生することがあります。この場合は、次の手順で起動する CD プレーヤーを使用し再生してください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」、「エンターテインメント」とマウスポインタを合わせ、「CD プレーヤー」をクリックします。

B44.FM Advisor について

● CPU 情報について

FM Advisor の「CPU 情報」の表示を行った際に、CPU 名、CPU クロックが正しく表示されない場合があります。本パソコンの詳しい仕様については、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』の「仕様一覧」でご確認ください。

B45.らくらく写真館について

PhotoManager の「画像出力」メニューの「一括加工」をお使いのときに、「サーバー使用中」のメッセージが表示される場合がありますが、アプリケーションの動作には問題ありませんので、そのまま続けてお使いください。

B46.らくらく写真館の Photoware/FDi 注文ソフトについて

らくらく写真館の Photoware/FDi 注文ソフトを使用後に、プリンタから印刷ができなくなる場合があります。その場合はいったんプリンタドライバを削除し、再度インストールすることで正常に印刷することができます。プリンタドライバの削除・インストールの方法は、プリンタに付属の取扱説明書を参照してください。

B47.らくらくメール BOX について

- らくらくメール BOX で半角英字を入力すると、文字の周りが帯状に光り、正しく表示されていないように見える場合があります。アプリケーションの動作には問題ありませんので、そのまま続けてお使いください。
- 「インターネットに接続できません。Windows の「コントロールパネル」の「ネットワーク」でネットワークの接続を確認してください。」というメッセージが表示されメールの送受信ができない場合は、ダイヤルアップのパスワードが保存されていない可能性があります。この場合は、添付マニュアル『使いこなす本 インターネット編』の「インターネットの始め方」を参照に、パスワードを保存してください。
- 文字数の多いメールを受信するときや表示するときに、他のメールソフトより若干時間がかかります。ご使用になるうえでは、まったく問題ありません。そのままお使いください。
- 回線接続中にらくらくメール BOX を終了すると、回線が切断されません。この場合は、タスクバーのアイコンから回線を切断してください。詳しくは添付マニュアル『使いこなす本インターネット編』の「インターネットの終わり方」を参照ください。

B48.ゲームをお使いになる場合

GAMEPACK2001、SANRIO TINY PARK などのゲームをお使いの最中は、次のことを行わないでください。

- 省電力機能を働かせる
- 画面の解像度、色数を変更する

ゲーム中に上記のことを行うと、エラーメッセージが表示されたり、ゲームが正しく動かなくなったりする場合があります。この場合は、起動中のアプリケーションをすべて終了させてから、Windows98 を再起動してください。また、「スタート」ボタンから Windows98 を再起動できない場合は、「Ctrl」キーと「Alt」キーを押しながら「Delete」キーを押して、Windows98 を強制的に再起動してください。

なお、お使いの機種により添付されているゲームは異なります。詳しくは、添付のマニュアル『FMV 総合案内』の「アプリケーション一覧」をご覧ください。

B49.文字が正しく表示されない場合

画面上に意味不明の文字が表示されたり、文字が横向きに表示されるような場合は、「FM 一発修正」を実行すると問題が解決できる場合があります。「FM 一発修正」について詳しくは、「B53.「FM 一発修正」について」をご覧ください。

B50.ウィンドウの「最小化」「最大化」「閉じる」ボタンが正しく表示されない場合

「FM 一発修正」を実行すると問題が解決できる場合があります。「FM 一発修正」について詳しくは、「B53.「FM 一発修正」について」をご覧ください。

B51.フォントがインストールできない場合

「FM 一発修正」を実行すると問題が解決できる場合があります。「FM 一発修正」について詳しくは、「B53.「FM 一発修正」について」をご覧ください。

B52.ネットワークプロトコルが追加できない場合

「FM 一発修正」を実行すると問題が解決できる場合があります。「FM 一発修正」について詳しくは、「B53.「FM 一発修正」について」をご覧ください。

B53.「FM 一発修正」について

次のような問題に対して、「FM 一発修正」を実行すると解決できる場合があります。

- 画面上に意味不明の文字が表示されたり、文字が横向きに表示されるような場合
- ウィンドウの「最小化」「最大化」「閉じる」ボタンが正しく表示されない場合
- フォントがインストールできない場合
- ネットワークプロトコルが追加できない場合

「FM 一発修正」の実行方法は次のとおりです。

1. 全てのアプリケーションを終了します。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
3. 「名前」に次のように入力し「OK」をクリックします。
C:¥FJUTY¥FMCURE¥FMCURE.EXE
4. 「OK」をクリックします。
5. 「はい」をクリックします。
Safe モードで Windows98 が起動します。
6. 「OK」をクリックします。
「FM 一発修正」の処理が終了した旨のメッセージが表示されます。
7. 「OK」をクリックします。

本パソコンの電源が切れます。これで「FM 一発修正」の実行は終了です。

「FM 一発修正」は必ず「C:¥FJUTY¥FMCURE¥FMCURE.EXE」から実行してください。「アプリケーション CD」から起動すると、正常に動作いたしません。

B54.筆ぐるめについて

筆ぐるめを再度インストールすると「Visual Basic Editor」(Word2000 または Excel2000 の「ツール」メニューの「マクロ」から起動できます)で表示される一部の半角文字が読みにくくなる場合があります。この場合は、「C:¥Windows¥Fonts¥Bopenkb.ttf」ファイルを「C:¥Program files¥Fgw¥」フォルダに移動してください。

B55.筆ぐるめの住所録データを FM 手帳に読み込むときの注意

筆ぐるめで作成した住所録データを、FM 手帳の住所録に読み込む場合、双方が管理するデータ項目の単位が異なるため、次の点にご注意ください。

- 筆ぐるめの住所録データを CSV 形式で保存してください。保存する手順については、筆ぐるめのマニュアルをご覧ください。
- FM 手帳で CSV 形式のデータの読み込みを行う際は、CSV ファイルの読み込みウィザードの指定項目で、次の点にご注意ください。
 - 「種類と CSV ファイル名の設定」ウィンドウ
 - 「読み込む CSV ファイルの種類」には「筆ぐるめ→住所録」を選択してください。
 - 「項目の関連付け」ウィンドウ
 - 「CSV ファイルの先頭行を項目名とする」のチェックマークをつけてください。
 - 「本体の項目」と「CSV ファイルの項目」の関連付けを変更する必要はありません。
- 読み込みが完了したデータは、FM 手帳の「住所録データの編集」機能で、次のように編集してからお使いください。
 - 筆ぐるめの「氏名」、「氏名読み」に姓名を空白文字で区切らずに入力していた場合、「個人情報」タブにある「姓」、「フリガナ姓」に入っていますので、それぞれ姓名を分けてください。
 - 「名前」をリストから選択してください。
 - 筆ぐるめの「自宅住所」は、空白文字を手掛かりに、「自宅」タブの「都道府県」、「市区郡庁」などに分かれて入っていますので使いやすいうように分け直してください。また、同様に「会社住所」は、「勤務先」タブに入っていますので分け直してください。

B56.タッチおじさんメールについて

- タッチおじさんメールをお使いのときに、「ダイヤルアップの接続」ウィンドウで「キャンセル」をクリックすると、メールまたはダイヤルアップネットワークの設定が違う旨のメッセージが表示される場合があります。この場合は、タッチおじさんメールを一度終了し、起動し直してください。
- タッチおじさんメールは、プロバイダによっては受信したメールの文字が正しく表示されない場合があります。あらかじめご了承ください。なお、@nifty では問題なく動作します。

B57.VirusScan について

- VirusScan でアップデート中に処理を中断しないでください。中断した場合は電話回線が接続された状態のままになってしまう場合があります。この場合はタスクバーのアイコンから回線を切断してください。詳しくは添付マニュアル『使いこなす本インターネット編』の「インターネットの終わり方」を参照してください。
- VirusScan を再度インストールすると、Windows98 の起動と同時にアップデートを促す画面と Scan32 が起動する場合があります。アプリケーションの動作には問題ありませんので、そのまま続けてお使いください。

B58.ポケベルコール機能について

10 円メールマスターやポケベルダイヤラのポケベルコール機能をお使いになり、エラーが表示されたり、相手に送信できない場合は、次の原因が考えられます。

- 送信相手が受信エリア外にいる
- 送信相手のポケットベルの電源が入っていない

B59.サンリオアクセサリーについて

- スタートメニューの「アナログ時計」の作業用フォルダは、ご購入時は次のように設定されています。
” C:\Program Files\SANRIO\AC¥アナログ時計”（「アナログ」は半角カタカナです。）
なお、サンリオアクセサリーのみアンインストールし、再度インストールした場合、インストール直後は上記のように設定されません。ご購入時の状態に戻す場合は、再インストール後に次の手順で設定し直してください。
 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「サンリオアクセサリー」、「アナログ時計」の順にマウスポインタを合わせて右クリックします。
 2. 表示されたメニューの「プロパティ」をクリックします。
 3. 「アナログ時計のプロパティ」ウィンドウの「作業用フォルダ」の欄に前述のパス名を入力し、「OK」をクリックします。

- 「デスクトップマスコット」を起動しているときは、デスクトップ上での範囲選択(アイコンを複数選択するときなどに利用)を正しく行うことができず、範囲を示す点線が画面に残る場合があります。
デスクトップ上で範囲選択を行う場合は、「デスクトップマスコット」を終了してください。また、点線が残った場合は、デスクトップの何も無いところにマウスポインタを合わせて右クリックし、表示されたメニューの「最新の情報に更新」をクリックすると、点線が消えます。
- 「アナログ時計」を右クリックすると表示されるメニューから「この位置に固定」をクリックし、「この位置に固定」にチェックマークをつけた場合(時計の位置を固定した場合)、「アナログ時計」をクリックすると、「アナログ時計」が画面左上に移動し、画面からはみ出して表示されます。この場合は、「この位置で固定」を再度クリックしてチェックマークを外したあと(位置の固定を解除したあと)、「アナログ時計」をドラッグして位置を調整し直してください。

B60.通信速度、および通信モードの設定について

お客様が接続されている相手側のモデムの設定内容(接続速度/接続モード)によっては、正常に接続できない場合があります。この場合は、お客様のモデムの設定(接続速度/接続モード)を相手側のモデムと同じ設定にして接続してください。

B61.ゼンリン電子地図帳 Z II をインストールする場合

ゼンリン電子地図帳 Z II のインストールで「情報確認」画面で「次へ」をクリックした後、「電子地図帳 Z II オンラインユーザ登録インストール」ウィンドウが後ろに隠れてしまう場合があります。この場合は「Alt」キーを押しながら「Tab」キーを押し、「電子地図帳 Z II オンラインユーザ登録インストール」ウィンドウを前面に表示させてください。

B62.ゼンリン電子地図帳 Z II について

- 「編集」メニューから描いた鎖線の図形は、正しく印刷されない場合があります。あらかじめご了承ください。
- サポートバーの「施設」タブには、施設名称が一つも登録されていないジャンルがあります。あらかじめご了承ください。
- 3D 表示の状態ではゼンリン電子地図帳 Z II を終了すると、エラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、エラーメッセージのウィンドウのボタンをクリックしてウィンドウを閉じたあと、Windows98 を再起動してください。

B63.別売モデムをお使いになる方へ

- 本パソコンでは、内蔵モデムをお使いになる場合の設定に合わせて、通信アプリケーションがインストールされています。モデムを新たに取付けた場合は、接続形態に合わせて COM ポート番号などを再設定する必要があります。また、お使いのモデムによっては、あらかじめ設定されている状態で、正常に通信できない場合があります。この場合は、お使いのモデムに合わせて、通信アプリケーションの再設定を行ってください。設定方法については、各通信アプリケーションおよびモデムの取扱説明書をご覧ください。
- PCI/ISA バス用の内蔵モデムカードを追加することはできません。モデムを追加する場合は COM ポートにつながる外付けモデムをお使いください。

B64.FAX 留守番電話について

- FAX の受信がうまくいかない場合は、次の手順で設定を変更してください。
 1. 「留守番電話」の「機能」をクリックし、「設定」をクリックします。
 2. 表示されたウィンドウの「留守番設定」タブをクリックします。
 3. 「着信モード」が「FAX のみ」に設定されているか確認します。「FAX のみ」以外に設定されている場合は、「FAX のみ」に設定します。
 4. 「着信までの呼び出し回数」を「4 回」以下に設定し、「OK」をクリックします。
これで設定は終了です。
- 本モデムで FAX 留守番電話を使って FAX 受信を行う場合、相手の FAX 装置によっては正常に受信できない場合があります。そのような場合は、次の方法で対処願います。
 - 短い応答メッセージを作る(10 秒以下)
 - 通話再生の音量を調節する場合は、ボリュームコントロールの再生側の Wave ボリュームを操作することにより、音量の調整が可能になります。
 - FAX 留守番電話の応答メッセージに使用する音声ファイルは 8KHz、16 ビット、モノラルに対応したファイルをお使いください。

- FAX 留守番電話の「電話/FAX」のモードで留守番待機中に FAX 受信すると、録音メッセージに FAX の発信音が録音されることがあります。
- 「通話再生」「通話録音」機能について
 - プリシエの場合
 - 受話器で通話しているときのみお使いになれます。
 - 通話の音量レベルが下がります。
 - 通話再生中は、通常対話が聞こえにくくなります。
 - プリシエ以外の機種の場合
 - 「通話再生」、「通話録音」機能はお使いになれません。
- 留守状態にしているときに省電力機能が働いた場合は、省電力機能から復帰したあと、留守番電話をいったん終わらせ、起動し直してください。そのままお使いになると、電話がかかってくる留守番電話が反応しない場合があります。
- FAX留守番電話の「機能」ボタンから「電話帳」をクリックすると、「レイアウトが見つかりません」というエラーメッセージが表示される場合があります。この場合は以下の手順でFM手帳の初期化ファイルを編集してください。
 1. 「アプリケーションCD1」の「Pim」フォルダにある「PimDataFolder.exe」を実行します。
 2. ダイアログが表示されるので、アプリケーションデータフォルダの「フォルダを開く」ボタンをクリックします。
※通常は、C:\Windows\Application Data\Fujitsu\Fjpim ですが、OSの環境により異なる場合がありますため、上記ツールの使用を推奨します。
 3. フォルダ内の「Fjpim.ini」をクリックします。
 4. 次の個所を編集します。

```
[Setting]
BasicLayout=8
```

↓

```
[Setting]
BasicLayout=9
```
 5. ファイルを保存します。

B65.ユーザ登録や加入手続きをオンラインで行うときの注意

「FMV オンラインユーザ登録」などを使って、ユーザ登録や加入手続きを本パソコンからオンラインで行うときは、通信中に処理を中断したり、電話回線を切断したりしないでください。登録に失敗したり、タイミングによっては、中断したはずの手続きが成立してしまったりする場合があります。

B66.インターネット(@nifty)無料体験について

インターネットへ接続するための設定を済ませたあと、「インターネット(@nifty)無料体験」をお使いになると、Internet Explorerなどを起動したときに、「ダイヤルアップの接続」ウィンドウが表示されず、インターネットへ接続できなくなる場合があります。この場合は、次の手順に従って、インターネットの設定を変更してください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「インターネットオプション」をクリックし、表示されたウィンドウの「接続」タブをクリックします。
3. 「ダイヤルアップの設定」の「通常接続でダイヤルする」をクリックし、「OK」をクリックします。
これで設定は終了です。

B67.AOLについて

- ニフティマネージャーで、インターネット経由でメールを送信するときに、全角文字を含んだファイル名のファイルをメールに添付した場合、そのメールをAOLで受信すると、まれに添付ファイルを正しく受信できない場合があります。
- チャットロビーに入ろうとすると、「リッチテキストが表示できませんでした。」または「メモリ不足のためこのアプリケーションを実行出来ません。」という旨のメッセージが表示される場合があります。このときに操作を先に進めることができなくなることがありますが、その場合は添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』の「Q 操作中に動かなくなった」をご覧ください。
- AOLではHatch insideの短縮記号はお使いになれません。あらかじめご了承ください

B68. マスターネットをお使いの方へ

2400bps または 28800bps では、XMODEM のデータ転送が正常に行なわれません。この場合は、ZMODEM にてデータ転送してください。

B69. 複数のユーザが使用する設定で本パソコンをお使いの場合

一部のアプリケーションは、複数のユーザが使用する設定（「コントロールパネル」の「ユーザー」で複数ユーザの個人用設定を行った場合など）には対応していません。あらかじめご了承ください。

なお、あらかじめインストールされているアプリケーションのうち一部のアプリケーションでは、複数のユーザが使用する設定のとき、次のようになることが確認されています。

- アンインストールしても「スタートアップ」フォルダからショートカットが消えない場合がある
- アンインストール後、再度インストールしても、アプリケーションが正しく起動しない場合がある
- アプリケーションにあらかじめ登録されたデータなどを複数のユーザで共有できない場合がある

B70. ヘッドセットのサポートについて

本パソコンの内蔵モデムでは、ヘッドセットによる電話はできません。

B71. ディスプレイ・画面表示に異常がある場合

ディスプレイや画面表示に異常がある場合は、次のことを確認してください。なお、添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』の「Q 画面が乱れる」もあわせてご覧ください。確認後も異常が見られる場合は、FM インフォメーションサービスまたはパーソナルエコーセンターへ連絡してください。

● 画面のちらつき／画面表示位置異常の場合

「画面のプロパティ」の「設定」タブにある「詳細」の「モニタ」タブにおいて、パソコン本体に接続しているディスプレイ名が表示されていることを確認してください。「不明なモニタ」と表示されている場合は、ディスプレイコネクタおよびパソコン本体にディスプレイケーブルがきちんと接続されていることを確認し、本パソコンを再起動してください。自動的にディスプレイが認識され、最適な設定が適用されます。

● 画面ノイズ／画面同期乱れ／部分的な色異常の場合

- 近くにスピーカーやテレビ等の強い磁気を発生する機器が無いかどうか確認してください。磁気の影響を受けて画面表示が乱れる場合があります。磁気の影響が無くなるまで距離を離して設置してください。
- 近くで携帯電話やトランシーバ等電波を発生する機器をお使いになると、画面表示が乱れる場合があります。本パソコンの近くで、これらの電波を発生する機器はお使いにならないでください。
- 近くに AC アダプタが無いかどうか確認してください。AC アダプタの発する電氣的ノイズにより画面表示が乱れる場合があります。画面異常が無くなるまで距離を離して AC アダプタを設置してください。

B72. 画面の乱れについて

Windows98 の起動および終了画面や、省電力機能から復帰するときなど、画面表示の開始時や表示モードが切り替わるとき、一時的に画面が乱れたり、横線が見える場合がありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

B73. MS-DOS モードで CD-ROM をお使いになる場合

ご購入時はドライバが組み込まれていないため、MS-DOS モードで CD-ROM がお使いになれません。

Windows98 を起動した状態にして、次の手順でドライバを組み込んでください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」の順にマウスポインタを合わせ、「メモ帳」をクリックします。
2. 「ファイル」メニューの「開く」をクリックし、「ファイル名」に次のように入力します。
c:¥config.sys
3. 「開く」をクリックします。
4. 次の行の「REM」を削除します。
REM DEVICE=C:¥REALMODE¥OAKCDROM.SYS /D:OEMCD001
↓
DEVICE=C:¥REALMODE¥OAKCDROM.SYS /D:OEMCD001
5. 「ファイル」メニューの「メモ帳の終了」をクリックします。
「変更を保存しますか」というメッセージが表示されます。
6. 「はい」をクリックします。

- 再度メモ帳を起動し、「ファイル」メニューの「開く」をクリックし、「ファイル名」に次のように入力し「開く」をクリックします。

`c:¥windows¥dosstart.bat`

- 次の行の「REM」を削除します。

`REM MSCDEX.EXE /D:OEMCD001 /I:× (×は機種によって異なります)`

↓

`MSCDEX.EXE /D:OEMCD001 /I:×`

- 「ファイル」メニューの「メモ帳の終了」をクリックします。
「変更を保存しますか」というメッセージが表示されます。
- 「はい」をクリックします。
- 「スタート」ボタンをクリックし、「Windows の終了」をクリックします。
「Windows の終了」ウィンドウが表示されます。
- 「再起動する」をクリックし、「OK」をクリックします。
Windows98 が再起動され、設定が有効になります。
- 「スタート」ボタンをクリックし、「Windows の終了」をクリックします。
「Windows の終了」ウィンドウが表示されます。
- 「MS-DOS モードで再起動する」をクリックし、「OK」をクリックします。
MS-DOS モードで CD-ROM が使用可能になります。

B74.ご購入時に内蔵されている CD ドライブの専用ドライバをお使いになる場合

添付の「アプリケーション CD2」には、ご購入時に内蔵されている CD ドライブの専用ドライバ (MS-DOS モードで利用可能なドライバ) が用意されています。この専用ドライバをお使いになる場合は、Windows98 を起動した状態にして、次の手順に従ってドライバを組み込んでください。

- 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
- 「システム」をクリックし、表示されたウィンドウの「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
- 「CD-ROM」の左側の「+」をクリックし、「CD-ROM」の下に表示された名称を確認します。
- 確認ができたなら、「OK」をクリックします。
- 「アプリケーション CD2」を CD ドライブにセットします。
- MS-DOS プロンプトなどを使って、「アプリケーション CD2」内の次のファイルを、「C:¥REALMODE¥」フォルダにコピーします。手順 3 で確認した名称に従って、それぞれ次のファイルをコピーしてください。
 - 「SONY CD-RW CRX100E」の場合
E:¥Cdsosny¥So_atapi.sys
 - 「NEC CD-ROM DRIVE:282」の場合
E:¥Cdnec¥NE_ATAPI.SYS
 - 「TOSHIBA CD-ROM XM-6602B」の場合
E:¥Cdtshiba¥TO_ATAPI.SYS
 - 「MATSHITA CD-ROM CR-1750」または「MATSHITA DVD-ROM SR-8185」の場合
E:¥Cdmatsu¥SR_ASPI.SYS
E:¥Cdmatsu¥ATAPIMGR.SYS
※上記の 2 つのファイルをコピーします。
 - 「TEAC CD-224E」または「TEAC CD-W54E」の場合
E:¥Cdteac¥TE_ATAPI.SYS
 - 「UJDA170」または「UJDA130」または「UJDA310」の場合
E:¥Cdkme¥KMEATAPI.SYS

「E:」は、お客様がお使いの CD ドライブのドライブ名となります。

- コピーが終わったら、「アプリケーション CD2」を CD ドライブから取り出します。
- 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」の順にマウスポインタを合わせ、「メモ帳」をクリックします。
- 「ファイル」メニューの「開く」をクリックし、「ファイル名」に次のように入力します。

`c:¥autoexec.bat`
- 「開く」をクリックします。

11. 表示された内容の末尾に次の行を追加します。

```
C:\DOS\MSCDEX.EXE /D:MSCD001
```

12. 「ファイル」メニューの「メモ帳の終了」をクリックします。

「変更を保存しますか」というメッセージが表示されます。

13. 「はい」をクリックします。

14. 再度メモ帳を起動し、「ファイル」メニューの「開く」をクリックし、「ファイル名」に次のように入力し「開く」をクリックします。

```
c:\config.sys
```

15. 先頭に LASTDRIVE の指定を一行加えます。すでに LASTDRIVE の指定がされている場合は、それを変更してください。指定する値はシステムで使用するドライブの数に対応する文字か、それ以上の文字を指定してください。例: LASTDRIVE=Z

16. 表示された内容の末尾に次の行を追加します。手順 3.で確認した名称に従って、それぞれ次のように追加してください。

- CD-ROM ドライブが CRX100E(SONY)の場合
DEVICE=C:\DOS\SO_ATAPI.SYS /D:MSCD001
- CD-ROM ドライブが DRIVE:282(NEC-HE)の場合
DEVICE=C:\DOS\NE_ATAPI.SYS /D:MSCD001 /SM PIO=4
- CD-ROM ドライブが XM-6602B(東芝)の場合
DEVICE=C:\DOS\TO_ATAPI.SYS /D:MSCD001
- CD-ROM ドライブが CR-1750(松下寿)の場合
- DVD-ROM ドライブが SR-8185 の場合
DEVICE=C:\DOS\ATAPIMGR.SYS /T:0
DEVICE=SR_ASPI.SYS /D:MSCD001 /B
- CD-ROM ドライブが CD-224E、CD-W54E (TEAC)の場合
DEVICE=C:\DOS\TE_ATAPI.SYS /D:MSCD001
または同じポートに他の HDD 等の IDE デバイスを接続している場合、以下の/Nを追加してください
DEVICE=C:\DOS\TE_ATAPI.SYS /D:MSCD001 /N
- CD-ROM ドライブが UJDA170,UJDA130(九州松下)の場合
- CD-R/RW ドライブが UJDA310(九州松下)の場合
DEVICE=C:\DOS\KMEATAPI.SYS /D:MSCD001 /P:S /O:M
また Windows のディレクトリの中にある、SYSTEM.INI の「386Enh」セクションには
VirtualHDIRQ=OFF の指定を加えてください。すでに VirtualHDIRQ の指定がある場合は
OFF の指定に変更してください。
(例: VirtualHDIRQ=OFF)

「B73.MS-DOS モードで CD-ROM をお使いになる場合」の手順 4.に従って「REM」を削除している場合は、その行を元の状態に戻してください。

17. このあとは、「B73.MS-DOS モードで CD-ROM をお使いになる場合」の手順 5.以降に従って操作を続けます。

すべての操作が終わると、MS-DOS モードで専用ドライバが使える状態になります。

B75. Visual Basic Editor について

(Office 2000 Personal モデルのみ)

「Visual Basic Editor」(Word2000 または Excel2000 の「ツール」メニューの「マクロ」から起動できます)で文字が正しく表示されない場合があります。この場合は、次のアドレス(URL)のホームページにある修正プログラムで解消できる場合があります。

<http://officeupdate.microsoft.com/japan/downloaddetails/2000/o9vbeupd.htm>

B76. ノイズについて

Windows 起動時に、「プच्छ」とノイズ音が聞こえることがありますが、故障ではありません。

B77. ACPI 非対応プリンタをお使いの場合

ACPI 非対応プリンタをお使いの場合、省電力から復帰した後に印刷をすると「プリンタが見つからない」または「書き込みができない」といった内容のエラーメッセージが表示され、印刷ができない場合があります。そのような場合は、ACPI 対応のプリンタドライバをインストールしてください。

ドライバが入手できない場合は、次のいずれかをお試しください。

- デバイスマネージャで、更新ボタンを押してください。
 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
 2. 「システム」のアイコンをクリックします。
 3. 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
 4. 「更新」ボタンをクリックします。
- 下記の設定を行ない、自動的に省電力機能が働かないように設定して下さい。なお、「Windows の終了」ウィンドウやキーボードの操作で、スタンバイ状態にしないでください。
 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
 2. 「電源の管理」のアイコンをクリックします。
 3. システム スタンバイの「▼」ボタンを押して、「なし」をクリックします。
- 添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』の「APM について」に従い、本パソコンの設定を APM モードに変更してください。

B78. Jet-Audio Player について

音楽 CD から Wave ファイルを作成した場合、カレントとエンコーディングの表示が 99%で変換処理が終了してしまう場合があります。Wave ファイルは正常に作成されていますので、お使いになるうえで問題ありません。

● 機種別情報

b1.画面の解像度や色数の変更について

プリシェのみ

色数を High Color(16 ビット)に設定したときに「画面のプロパティ」の「背景」タブの「模様」をお使いの場合は、「Web」タブの「Active Desktop を Web ページで表示」のチェックマークを外してください。このチェックマークがついていると、「模様」が正しく表示されない場合があります。

b2.複数のオーディオソースを録音するとき

K シリーズ,プリシェのみ

複数のオーディオソース(マイクやラインインなど)を録音するときは、Waveの「ステレオミックス」を選択してください。「ステレオミックス」を選択すると、マスター音量として出力される音すべてが録音対象になります。この場合、録音するオーディオソースの選択やボリュームレベル、バランスなどはマスター音量のミキサーで操作します。

C シリーズ,M シリーズのみ

複数のオーディオソース(マイクやラインインなど)を録音するときは、レコーディングコントロールの「ステレオアウト」を選択してください。「ステレオアウト」を選択すると、ボリュームコントロールとして出力される音すべてが録音対象になります。この場合、録音するオーディオソースの選択やボリュームレベル、バランスなどはボリュームコントロールのミキサーで操作します。

b3.市販の MIDI 機器を接続するには

K シリーズ,C シリーズ,M シリーズ,ME シリーズのみ

市販の MIDI 機器を接続する場合、本パソコンの背面にある MIDI/JOYSTICK 端子に、MIDI/JOYSTICK 変換ケーブルを用いて接続してください。接続には MIDI/JOYSTICK 変換ケーブルが必要です。別途ご購入ください。MIDI 機器との接続について詳しくは、MIDI 機器のマニュアルをご覧ください。

b4.マルチモニタ機能について

K シリーズのみ

マルチモニタ機能はサポートしていません。

G シリーズのみ

マルチモニタ機能をお使いになる場合は、PCI グラフィックスカードをプライマリにし、オンボード VGA(AGP)をセカンダリにしてお使いください。

また、PCI ビデオカードを接続する前に、次の手順で「FUJITSU DVI UTILITY(FJDVI.vxd)」をアンインストールしてください。アンインストールしないと、マルチモニタ時に Windows が起動しないことがあります。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「アプリケーションの追加と削除」をクリックします。
3. 「インストールと削除」タブが表示されていることを確認し、リストの中から「FUJITSU DVI UTILITY (FJDVI.vxd)」を選択し、「追加と削除」をクリックします。
4. 「OK」をクリックします。
5. 「コントロールパネル」ウィンドウの右上にある「閉じる」ボタンをクリックします。

これで「FUJITSU DVI UTILITY (FJDVI.vxd)」のアンインストールが終了します。

ME シリーズのみ

マルチモニタ機能対応の PCI グラフィックスカードを増設してもマルチモニタ機能が動作しない場合、Primary Display Adapter の設定を変更する必要があります。設定の変更方法については、添付マニュアル『使いこなす本ハード編』をご覧ください。BIOS セットアップの設定でプライマリディスプレイが「PCI」または「Auto」に設定されている場合、マルチモニタ機能はお使いになれません。

b5.IDE の DMA 転送について

ME シリーズ,プリシェのみ

「システムのプロパティ」から「デバイスマネージャ」タブを選択して、「CD-ROM」の「DMA」設定を行った場合、本パソコンが正常に動作しない場合があります。「CD-ROM」の「DMA」設定を行わないようにお願いします。

b6.マイクとスピーカーを使った通話機能について

プリシェのみ

電話機能の留守番電話などの通信アプリケーションで、マイクとスピーカーを使った通話機能をお使いになる場合は、次の点にご注意ください。

- 雑音の多い環境での使用は避けてください。マイクに雑音が入ってしまい、十分な通話レベルが確保できない場合があります。
- マイクとスピーカーを使って通常の通話をする場合、マイクに近づきすぎたり、過大な音声で話をする、相手に聞こえる音声が途切れ途切れになることがあります。マイクから約30cm程離して対話してください。また、話し始めの音声が相手に聞こえにくいことがあります。

b7.別売のPS/2キーボードやPS/2マウスをお使いの方へ

Kシリーズ,MEシリーズのみ

Windows98のACPIモードでは別売のPS/2キーボードやPS/2マウスで省電力機能から復帰できません。

b8.増設した拡張カードのMS-DOS版ユーティリティを使う場合

Cシリーズ,Mシリーズ,プリシェのみ

拡張カードを増設し、拡張カードに添付されているMS-DOS版のユーティリティをフロッピーディスクから起動して使う場合など、プラグアンドプレイに対応していないOSをお使いになる場合は、必ず次の設定を行ってください。次のように設定しないと、拡張カードによっては、お使いのユーティリティに正常に認識されない場合があります。設定方法については、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』をご覧ください。

- BIOS セットアップの PnP/PCI メニューの「プラグアンドプレイ対応 OS」の項目を「いいえ」に設定してください。

b9.OASYS フロッピーのサポートについて

Mシリーズ,MEシリーズのみ

本パソコンでOASYS文書フロッピーをお使いになるためには、OASYS V6 L10 rel10I以降が必要です。なお、本パソコンでは2HDのOASYS文書フロッピーを作成することはできません。2DDのOASYS文書フロッピーの作成/書き込み/読み出し、2HDのOASYS文書フロッピーの書き込み/読み出しはできます。

b10.ナンバーディスプレイ表示用アダプタをお使いの方へ

プリシェのみ

ナンバーディスプレイ表示用のアダプタをつけて通信を行うと、通信速度が若干低下することがあります。

b11.RealAudio G2 Player のボリュームコントロールについて

プリシェのみ

RealAudio G2 Player ソフトにあるボリュームコントロールでは、動作しません。マスター音量のボリュームで調整してください。

b12.スピーカーのハム音(ブー音)について

Cシリーズ,Mシリーズ,MEシリーズのみ

パソコン本体用電源ケーブルから、コンセントへアースがとられていないと、添付スピーカーからハム音(「ブー」という音)がかすかに聞こえる場合がありますが、これは故障ではありません。この場合は、添付マニュアル『取扱説明書』の「接続する」をご覧ください。パソコン本体用電源ケーブルから、コンセントへアースをとることで解消できる場合があります。

b13.DragonSpeech について

DragonSpeech 対象品のみ

- 音声コマンドの一部が利用できないアプリケーションがあります。あらかじめインストールされているアプリケーションのうち、次のアプリケーションで、前述のようになることが確認されています。
 - エクスプローラ
 - Word2000
 - Excel2000
- DragonSpeech による音声入力は花子 10 ではご使用できません。あらかじめご了承ください。

b14.らくらく写真館の Photoware/FDi 注文ソフトについて

プリシエのみ

プリシエではらくらく写真館の Photoware/FDi 注文ソフトはご使用になれません。あらかじめご了承ください。らくらく写真館のインストールでは、「コンポーネントの選択」画面で「Photoware/Fdi 注文ソフト」のチェックをはずしてください。チェックをつけたままインストールすると、インストール中にエラーメッセージが表示されます。

b15.画面拡大機能について

プリシエのみ

BIOS メニュー及び画面のプロパティにて表示画面をパネルのサイズに拡大する機能を有効にした場合、画面の端が見えにくくなる場合があります。その場合は、拡大機能を無効にしてください。

b16.K シリーズ,C シリーズのグラフィックについて

- 256 色/True Color(24 ビット)上では、Direct3D のハードウェアアクセラレーション(HAL)はサポートしておりません。色数を 256 色/True Color(24 ビット)に設定した状態で、Direct3D 対応のアプリケーションを表示させた場合、ソフトウェアでの実行となるため、表示速度/表示画質に問題が生じる場合があります。この場合は、High Color(16 ビット)をご利用ください。
- スクリーンセーバーやゲーム終了後、画面のリフレッシュレートが変わってしまう場合があります。この場合は、本パソコンを再起動すると正常に戻ります。
- デバイスマネージャ上で「更新」ボタンをクリックした瞬間、画面が一瞬途切れる場合があります。動作上問題ありませんので、そのままお使いください。
- Windows の起動 Logo 画面で、一瞬フラッシュすることがあります。動作上問題ありませんので、そのままお使いください。
- マウスカーソルにハードウェアカーソルを使用している場合、カーソルが変形する瞬間に点滅することがあります。動作上問題ありませんので、そのままお使いください。
- スタンバイ状態(ACPI S3)からの復帰時、その復帰処理途中で画面の文字の大きさが大きくなる場合があります。
- 「A列車で行こう5」で、HAL 使用時に「ビデオメモリが足りない」のエラーメッセージが表示され、テキストが利用できません。
- 「Word2000&Excel2000 虎の巻」や「一太郎 10&Lotus1-2-3 2000 虎の巻」で、256 色及び High Color(16 ビット)時、スクロールが普通より遅いことがあります。その時は True Color(24 ビット)でお使いください。
- ACPI の環境で、スタンバイ/復帰を繰り返すと、「デバイスドライバまたはプログラムが原因でスタンバイに入れません」というメッセージが出て、スタンバイに入れないことがあります。
- 「画面のプロパティ」においてビデオメモリの容量が正しく表示されません。故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 「(標準ディスプレイ)」の「SuperVGA」ドライバはお使いにならないでください。
- ディスプレイアダプタは「Intel® 810e Chipset Graphics Driver (DC133 FSB133)」と表示されますが、実際の動作速度とは異なります。
- 「お父さんのための釣り」を起動後、他のアプリケーションを実行する場合は、その前に一度 Windows の再起動を行ってください。使用するアプリケーションによっては、画面の表示が乱れることがあります。
- 省電力から復帰した後、システム設定が変更されてしまい、「画面のプロパティ」または「システムのプロパティ」において、ディスプレイ名が「標準モニタ」と表示される場合があります。この場合は、本パソコンを再起動すれば正常表示に戻りますので、それからご使用ください。「標準モニタ」の状態では、正常な解像度、色数、リフレッシュレートなどの変更はできなくなっています。

C シリーズのみ

- マルチモニタ機能をお使いになる場合、マルチモニタ機能をサポートしたグラフィックスカードをお使いください。また、省電力機能をお使いになる場合も、省電力機能をサポートしているグラフィックスカードをお使いください。
- プラズマディスプレイ FP-2500 接続時、モニタのリフレッシュレートにおいて「最適」ではなく「60Hz」を選択してお使いください。
- 「画面のプロパティ」のモード一覧において 1152x864 の解像度を選択しないでください。
- アナログディスプレイとデジタルディスプレイの同時接続は、サポートしておりません。アナログディスプレイあるいはデジタルディスプレイのどちらか一方のみを、接続してお使いください。

C3/557 のみ

- 「画面のプロパティ」のモード一覧において、1280x1024, True Color(24 ビット)の解像度を選択しないでください。

b17.画面表示が小さくなることがあります

Kシリーズ,C3/60L,C3/55L,C3/50Lのみ

次の場合、画面表示が小さくなることがあります。

- Windows 終了時のロゴ画面
- 「画面のプロパティ」で、設定を「640x480,16色」にして Windows の再起動をしたときの表示画面
- Windows の終了画面で「MS-DOS モードで再起動」を選択したとき
- 色数を変更する際、「新しい設定でコンピュータを再起動する」を選択して再起動した後、MS-DOS のフルスクリーン表示を行った場合の表示画面
- マルチモニタ使用時、PCI プライマリ/On board Graphics(Intel810E)セカンダリを設定したときに表示されるセカンダリモニタの初期化画面
- ディスプレイドライバから VGA 標準ドライバを選択して、再起動をしたあと
- スタンバイから復帰した後の MS-DOS のフルスクリーン表示
- 640x480,16色のモード(SafeModeも含む)でスタンバイから復帰した場合。

上記のほかにも画面表示が小さくなるがありますが、その場合は、本パソコンを再起動すると、正常に表示される場合があります。

b18.M シリーズの画面の表示について

- 「画面のプロパティ」で解像度、色数やリフレッシュレートを変更すると、画面がディスプレイの中央に表示されない場合があります。この場合は、リフレッシュレートの値を 85Hz に設定するか、ディスプレイ側で表示位置を調整してください。なお、他社製のディスプレイや液晶ディスプレイをお使いの場合は、製品の仕様を確認のうえお使いください。
- 8bpp 上では、Direct3D のハードウェアアクセラレーション(HAL)はサポートしておりません。色数を 8bpp に設定した状態で、Direct3D 対応のアプリケーションを表示させた場合、ソフトウェアでの実行となるため、表示速度/表示画質に問題が生じる場合があります。この場合は、16bpp または 32bpp をご使用ください。
- 「画面」タブの中に「パネル」、「テレビ」が表示されますが、本パソコンには接続できません。
- 「Word2000&Excel2000 虎の巻」や「一太郎 10&Lotus1-2-3 2000 虎の巻」の使用時、画面の書き換え(動作)が遅くなる場合があります。この場合は、画面の色数を 256 色に変更してお使いください。

b19.ME シリーズのグラフィックについて

- 256色上では、Direct3D のハードウェアアクセラレーション(HAL)はサポートしておりません。色数を 256 色に設定した状態で、Direct3D 対応のアプリケーションを表示させた場合、ソフトウェアでの実行となるため、表示速度/表示画質に問題が生じる場合があります。この場合は、High Color(16ビット)または True Color(32ビット)をご利用ください。
- Lotus1-2-3 や Excel/Word において、図形やグラフの一部が欠けて表示される場合があります。その場合は、再描画をしていただくとうまく表示されます。
- マウスポインタのデザインをソフトウェアカーソルやアニメーションカーソルに変更した場合、カーソルがフラッシュする等、ウィンドウの表示に問題が生じる場合があります。ポインタのデザインは、(なし)の設定でお使いください。
- High Color(16ビット)の色数で LiveHelp v5.0L10 を Expert 側で使用することはできません。256 色か True Color(32ビット)でお使いください。
- 「電車で Go!2」で起動デモ中に、横線が出る場合があります。
- 「SEGA RALLY2」において、一部のフォントが乱れたり、オープニングのデモ画面が乱れる場合がありますが、ゲームの動作上は問題ありません。
- 省電力モードや電源投入後、まれに画面の解像度を変更される場合があります。この場合は、「画面のプロパティ」より、お使いになる解像度に変更し直してください。あわせて、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』の「2章 8. 画面の解像度や発色を変える」をご覧ください。

b20.アナログディスプレイでの 640x480 の 60Hz の画面位置の調整について

Gシリーズのみ

アナログディスプレイを使用時、640x480(60Hz)の Windows 画面において、画面位置調整をディスプレイ側で行った場合、Bios Setup 画面、及び MS-DOS 画面の表示位置がずれる場合があります。この場合は、それぞれの画面で適宜位置合わせを行ってください。

b21.GAMEPACK2001 について

Kシリーズ,Cシリーズのみ

GAMEPACK2001 をお使いの場合、「ドローポーカー」で、カード選択時にゴミのようなものが表示される場合があります。この場合は、次の手順により正常に表示されます。

- 「システムのプロパティ」(「コントロールパネル」の「システム」アイコンをクリックすると表示されます)の「パフォーマンス」タブにある「グラフィックス」をクリックし、「ハードウェア アクセラレータ」を「なし」に設定する。

この設定を変更したあと、本パソコンの再起動が必要です。設定を変更する前に、必要なデータはすべて保存し、起動しているアプリケーションはすべて終了してください。

b22.ソフトウェアカーソルについて

MEシリーズのみ

ソフトウェアカーソル(アニメーションポインタなど)を使用するとカーソルがフラッシュすることがあります。

b23.AC 復電時の動作について

MEシリーズのみ

本パソコンはAC切断時の状態保持機能を持っていません。電源投入状態で停電などによってAC入力がなくなり、その後回復しても電源は OFF 状態のままとなります。このため、無停電電源装置などで AC 電源を ON/OFF してパソコンの運用を制御することはできません。

b24.スタンバイ時の USB 機器の接続について

Cシリーズ,Mシリーズ,MEシリーズのみ

スタンバイ時には USB 機器の接続を行うとシステムが不安定となる場合があります。スタンバイ状態の時には USB 機器の接続を行わないでください。

b25.スタンバイ状態(ACPI S3)から復帰時の USB キーボードのキーリポートについて

Kシリーズ,Cシリーズのみ

高度な省電力設定(ACPI S3)では、スタンバイ状態からの復帰後、USB キーボードにてキーリポートが効かない場合があります。

再びキーリポートを効くようにするには、本パソコンを再起動してください。

b26.Easy CD Creator について

M3/557,ME3/507 のみ

- インストール時の注意
再度インストールをすると、Windows98 の起動と同時に「Adaptec Easy CD Creator の Adaptec Web-Checkup は、インターネットを…」と記述されている画面が表示され、タスクトレイに Adaptec CreateCD が常駐します。ご購入時の設定に戻したい場合は、タスクトレイの Adaptec CreateCD を右クリックし「CreateCD を無効にする」を実行してください。
- 再度インストールをすると、Windows のヘルプ(「スタート」ボタンをクリックし、「ヘルプ」をクリックすると起動します)のタブ名と ツールバーのボタン名が英語になってしまいます。再度インストールをする場合は 事前に次の手順に従ってください。
 1. C:\Windows\System にある HHCTRL.OCX ファイルを別のフォルダ(例:My Document など)へコピーします。
 2. EasyCD Creator Ver.4.01 の再インストールを行います。
 3. 手順 1 でコピーした HHCTRL.OCX を、コピー先から元の C:\Windows\System へ上書きコピーします。
- CD Copier にて CD 情報を参照するとシステムに不具合が発生する場合があります。CD 情報を参照する場合は次の手順で参照してください。
 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「Adaptec EasyCD Creator」「Feature」の順にマウスポインタを合わせ、「EasyCD Creator」をクリックします。
 2. 情報を参照したい CD を CD-RWドライブにセットし EasyCD Creator の画面のツールバーにある「CD」をクリックします。
 3. 「CD 情報」をクリックすると CD 情報が表示されます。
- 複数の音楽ディスクから曲をコピーして新しい音楽 CD を作成すると、Windows の CD プレーヤーでコピーした曲の一部が再生できない場合があります(これはコピーを行ったパソコンで再生する場合でのみ発生し、他の

パソコン、CDプレーヤーでは発生しません)。この場合は、複数の音楽ディスクから曲をコピーして新しいCDを作成した後で、次の操作を行ってください。

1. 「マイコンピュータ」または「エクスプローラ」を起動し、C:\Windows\CDPLAYER.INI ファイルをクリックして開きます。
2. CDPLAYER.INI ファイルの末尾に括弧記号 [] で表示されている部分が、最後に作成した音楽 CD の情報です。その中に n="" の形式で、音楽トラック情報が記録されている部分があります。この部分で、最後の書き込みした音楽トラック以前の音楽トラック情報が、欠けてしまっている場合がありますので追加してください。

曲数が n だった場合の具体的な編集例を以下に示します。

[CD の ID 番号]

artist=任意のアーティスト名

title=任意のタイトル名

numtracks=n

←音楽 CD に記録したトラック数の合計を記入します。

0=トラック 1

←欠けてしまった音楽トラックを追加します

1=トラック 2

←欠けてしまった音楽トラックを追加します

・

←欠けてしまった音楽トラックを追加します

・

←欠けてしまった音楽トラックを追加します

m-1=トラック 4

←欠けてしまった音楽トラックを追加します

m=トラック 5

←最後の書き込みで記録した音楽トラックが表示されていますので、そのまま残します。

・

←欠けていないものはそのまま残します

・

←欠けていないものはそのまま残します

n=トラック 8

←欠けていないものはそのまま残します

以上で編集は終わりです。

● 音楽 CD のコピーについて

音楽 CD をコピーする場合は、Easy CD Creator で音楽トラックを WAV ファイルとして抽出してから CD を作成してください。

なお、CD Copier は CD-ROM のコピーにお使いください。

【音楽 CD のコピー手順】

はじめに、音楽データを WAV ファイルとして抽出します。

1. コピーしたい音楽トラックを選択します。

(1)「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「Adaptec Easy CD Creator 4」、「Features」の順にマウスポインタを合わせ、「Easy CD Creator」をクリックします。

「Easy CD Creator」ウィンドウが表示されます。

(2)ツールバーの「新規作成」の隣にある「▼」をクリックして、一覧から「音楽 CD」を選択します。

(3)コピーしたい音楽トラックの音楽 CD を、CD-R/RW ドライブにセットします。

しばらくすると、セットした音楽 CD のトラックリストが右側に表示されます。

表示されない場合は、エクスプローラの左側で、音楽 CD をセットした CD-R/RW ドライブを選択してください(本パソコンご購入時は E ドライブです)。

(4)エクスプローラの右側のトラックリストで、コピーしたい音楽トラックをクリックします。

「Ctrl」キーを押しながら音楽トラックをクリックすると、複数の音楽トラックを選択できます。

2. ツールバーの「抽出」をクリックします。

「オーディオトラックをファイルに抽出します。」ウィンドウが表示されます。

3. 「保存する場所」の「▼」をクリックし、一覧から保存するファイルの場所を選択します。

4. 「ファイルの種類」の「▼」をクリックし、一覧から「WAV ファイル(*.WAV)」を選択します。

5. 「フォーマット」の「▼」をクリックし、一覧から「PCM 44.100kHz, 16 ビット, ステレオ(CD の質)」を選択し、「保存」をクリックします。

音楽データが WAV ファイルとして保存されます。

次に音楽CDを作成します。

6. CD-R/RW ドライブから音楽 CD を取り出し、ブランク CD-R/RW ディスクをセットします。

7. エクスプローラの左側で、手順 3 で保存した WAV ファイルの場所を選択します。

8. エクスプローラの右側で、書き込みたい WAV ファイルをクリックし、ツールバーの「追加」をクリックしま

す。

「Ctrl」キーを押しながら WAV ファイルをクリックすると、複数のファイルを選択できます。

9. ツールバーの「CD の作成」をクリックします。

「CD 作成セットアップ」ウィンドウが表示されます。

10. 「OK」をクリックします。

音楽 CD への書き込みが始まります。

- **書き込み時の注意について**
お使いのパソコンの環境によっては、CD-R/RW ドライブへのデータ転送が滞ってバッファアンダーランが発生し、書き込みに失敗することがあります。
書き込みを行う際は、次の点に注意してください。
 - －書き込み中は他のアプリケーションを起動しないでください。
 - －書き込み中は、本パソコンのスタンバイ機能またはサスペンド機能を使用しないでください。
 - －使用しないアプリケーションは、なるべく自動起動の設定を外してください。
プレインストールされているアプリケーションの自動起動を外す方法は、「A31.システムリソースについて」をご覧ください。
- Easy CD Creator のインターネットボタンについて
ツールバーの「インターネット」をダブルクリックしないでください。ダブルクリックすると、Easy CD Creator からの応答がなくなる場合があります。
- コピー元のフォルダに数百のファイルがある場合
コピー元のフォルダに数百のファイルがある場合は、フォルダごと CD レイアウトへ移動してください。また、コピー元のルートに数百のファイルがある場合は、新しいフォルダを作成し、そのフォルダにコピーまたは移動してから CD レイアウトへ移動してください。数百のファイルを CD レイアウトに移動すると、Easy CD Creator からの応答がなくなる場合があります。
- 音楽トラック名のピリオドについて
音楽トラック名にピリオド(.)を使用しないでください。音楽トラック名にピリオドがある WAV ファイルを CD レイアウトに移動すると、ピリオド以降の文字列が無視されます。
- 80 分 CD-R ディスクについて
80 分 CD-R ディスクを使用しているときに、「CD 情報バー」で「CD-R ディスク残り容量」の表示を行うと、6分少ない時間が表示されますが、書き込みそのものには問題ありません。
- CD 内容変更後の表示について
CD の消去、または CD への追記を行ったあと、アイコンやエクスプローラの内容が正しく表示されないことがあります。この場合は、CD-R/RW ドライブの EJECT ボタンを押して、もう一度 CD をセットし直してください。
- MP3 ファイルからの音楽 CD の作成について
MP3 ファイルから音楽 CD を作成する場合、MP3 のファイル形式によっては、正常に音楽 CD を作成できないことがあります。この場合には、WAV 形式に変換してから音楽 CD を作成してください。
- Jewel Case Creator について
Jewel Case Creator で CD ジャケットを作成する際、デフォルトのフォント指定のまま印刷を行うと文字がはみ出す場合があります。CD ジャケットを印刷する際は、イメージ編集時に印刷イメージを確認してから印刷を行ってください。

b27.FAX 留守番電話について

プリシェのみ

- 電話の音声がない場合、次の手順を実行してみてください。
 - 1. タスクバーの「音量」アイコンをダブルクリックします。**
「マスター音量」ウィンドウが表示されます。
 - 2. 「オプション」メニューの「プロパティ」をクリックします。**
「プロパティ」ウィンドウが表示されます。
 - 3. 「表示するコントロール」の一覧にある「電話線」をクリックしてチェックマークをつけ、「OK」をクリックします。**
「マスター音量」に「電話線」が表示されます。
 - 4. 「電話線」の下にある「ミュート」の左が「□」になっていることを確認します。なっていない場合は、クリックして「□」にしてください。**
 - 5. 「オプション」メニューの「プロパティ」をクリックします。**
「プロパティ」ウィンドウが表示されます。

6. 「表示するコントロール」の一覧にある「電話線」をクリックしてチェックマークを外し、「OK」をクリックします。
「マスター音量」の「電話線」が消えます。
7. 「出カマスター」ウィンドウの右上にある「閉じる」ボタンをクリックします。

b28.ナンバーディスプレイを契約されている電話回線をお使いの方へ

プリシエのみ

- 本パソコンの内蔵モデムはナンバーディスプレイ(注 1)に対応していますが、ナンバーディスプレイに対応したアプリケーションが必要となります。モデムを使ったアプリケーション(注 2)が動作している場合に、ナンバーディスプレイに対応した電話機、アダプタがつながっているときは、電話機、アダプタを取り外すか、ナンバーディスプレイに対し動作しないように設定してお使いください。

注 1: お客さまの契約されている回線がナンバーディスプレイに対応している場合に限りです。また電話をかけてきた相手の電話回線が電話番号非通知となっている場合、携帯電話、NTT 以外の電話会社と契約している場合、お客さまの使用している回線が ISDN 回線経由の TA のアナログポートに回線を接続している場合、構内回線(PBX)で接続している場合、スタンバイ状態から電話の呼び出しによって Wake Up した場合は、電話番号が表示されないことがあります。

注 2: 特に TAPI に対応したアプリケーションは必ずお守りください。

注 3: モデムのアプリケーションが動作しておらずかつ電話機、アダプタをナンバーディスプレイに対し動作しないように設定している場合に電話がかかってくると、短いリング音が約 6 回聞こえます、この間に受話器を取りますと回線が切れてしまいます。リング音が 6 回以上なった後に受話器をお取りください。

- WAKE UP 時にナンバーディスプレイ用の短いリングが聞こえることがありますが、この時に受話器を取ると回線が切断されてしまいます。この場合は、通常のリング音が聞こえるまで待ってから、受話器を取ってください。

K シリーズ、C シリーズ、M シリーズ、ME シリーズのみ

- 本パソコンの内蔵モデムはナンバーディスプレイに対応しておりません。お客様が契約している回線が、ナンバーディスプレイに対応している場合は、ナンバーディスプレイに対応した電話機かアダプタをお使いください。お客様の電話機やアダプタがナンバーディスプレイに対応していないと、短いリング音が聞こえたり、回線に接続しても、すぐに切断されたりする場合があります。
- FAX 自動受信などを行う場合は、お使いの通信アプリケーションの応答するまでのコールの回数を 3 回以上に設定してください。

b29.アクセスポイントについて

K シリーズ、C シリーズ、M シリーズ、ME シリーズのみ

@nifty 稲城 2400bps、またはマスターネット東京 9600bps に接続すると、接続後すぐに切断される場合があります。他のアクセスポイントに接続することをお勧めします。

b30.PEOPLE をお使いの方へ

K シリーズ、C シリーズ、M シリーズ、ME シリーズのみ

9600bps のアクセスポイントに接続すると、2400bps で接続される場合があります。また、9600bps での接続は、ノーマルモードで接続されます。

b31.マスターネットをお使いの方へ

K シリーズ、C シリーズ、M シリーズ、ME シリーズのみ

9600bps での接続は、ノーマルモードで接続されます。

b32.スピーカーフォン／通話録音・通話再生機能について

プリシエのみ

- マイクからの音声は、十分小さい音量ですがスピーカからも聞こえます。
- 通話録音／通話再生の音声は、スピーカからも聞こえます。聞きたくない場合は、スピーカのボリュームを調整してください。

b33.かんたんメールボタンについて

ブリシュのみ

スクリーンセーバーの復帰は、かんたんメールボタンではできません。本パソコンの動作が、不安定になる可能性がありますので、スクリーンセーバーの復帰には、キーボードやマウスをお使いください。

b34.オプションカードの増設について

Cシリーズのみ

増設するオプションカード(SCSIカード・FMV-127Aなど)によっては、起動時に「EMM386 not Installed-unable to set page frame base address.」とメッセージが表示される場合がありますが、問題はありません。

「Enter」キーを押すか、そのまま10秒ほどお待ちください。Windows98が起動します。

また次のような方法によって回避できる場合もあります。

- オプションカードのROMをDisableにする
増設するオプションカードのマニュアルを参照して下さい。この場合、ROMの機能は使用できません。
- EMM386のアドレスを指定する
オプションカードを増設する前に、次のように EMM386 のアドレスを指定することで回避できる場合があります。
 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」の順にマウスポインタを合わせ、「メモ帳」をクリックします。
 2. 「ファイル」メニューの「開く」をクリックし、「ファイル名」に次のように入力します。
`c:\¥config.sys`
 3. 「開く」をクリックします。
 4. EMM386.EXE に関する行を次のように変更します。
`device=c:\¥windows¥himem.sys`
`device=c:\¥windows¥EMM386.EXE RAM`
`devicehigh=c:\¥windows¥biling.sys`
↓
`device=c:\¥windows¥himem.sys`
`rem device=c:\¥windows¥EMM386.EXE RAM`
`device=c:\¥windows¥EMM386.EXE I=E000-EFFF`
`devicehigh=c:\¥windows¥biling.sys`
 5. 「ファイル」メニューの「メモ帳の終了」をクリックします。
「変更を保存しますか」というメッセージが表示されます。
 6. 「はい」をクリックします。

b35.PCカード使用後の省電力機能について

ブリシュのみ

PCカード使用後に省電力機能を働かせて元の状態に戻した場合に、電源ランプはオレンジ色から緑色に変わりますが、画面の表示が出ない場合があります。画面の表示を出すには、パソコン本体の「かんたんメールボタン」を押してください。

b36.電源投入直後および再起動後に Windows98 の Safe モードになった場合

MEシリーズのみ

電源投入直後または再起動後に、まれに Windows98 の Safe モードになる場合があります。Safe モードでパソコンが起動した場合は、キーボードで次の操作を行い本パソコンを再起動してください。

1. 「Windows」キーを押します。
2. 「↑」キーを押します。
3. 「Enter」キーを押します。
4. 「↑」キーと「↓」キーで「再起動する」を選択します。
5. 「Enter」キーを押します。

b37.IEEE1394 機器の接続について

M3/557 のみ

IEEE1394 カードと IEEE1394 機器との接続は、一部の機器で正常に動作しない場合があります。特にデジタルビデオカメラとの接続では、弊社にて動作確認が済んだ機器から順次、インターネットにあるホームページ (FM-WORLD)にて掲載する予定です。アドレス (URL)は次のとおりです。

<http://www.fmworld.ne.jp>

b38.WinDVD について

WinDVD 対象品のみ

DVD ソフトを再生させたときは、本パソコンの音量は WinDVD のボリュームの値になります。

b39.WinDVD のヘルプにおける Search 機能について

WinDVD 対象品のみ

WinDVD のヘルプにおいて「Search」機能はお使いになれません。ご了承ください。

b40.アプリケーションソフトについて

M シリーズのみ

アプリケーションが正常に動作しない場合は、次のいずれかの操作で正常に動作する場合があります。

- アプリケーション CD の「Update」フォルダ内に収録されているディスプレイドライバをインストールする (インストール方法については、「Update」フォルダにある「Readme.txt」をご覧ください)
- 「画面のプロパティ」で色数の設定を変更する
- 「システムのプロパティ」(「コントロールパネル」の「システム」をクリックすと表示されます)の「パフォーマンス」タブにある「グラフィックス」をクリックし、「ハードウェア アクセラレータ」を「なし」に設定する
この設定を変更したあと、本パソコンの再起動が必要です。設定を変更する前に、必要なデータはすべて保存し、起動しているアプリケーションはすべて終了してください。

なお、上記の操作を行っても、アプリケーションによっては、性能低下や音声ノイズなどの問題が発生する場合があります。

b41.オブジェクトの挿入について

DVD 対応機種のみ

WORDPAD や WORD2000 のアプリケーションにおいて、「挿入」メニューの「オブジェクト」を使って、動画ファイルを貼り付けた場合に、貼り付けたファイルの再生や編集ができない場合があります。あらかじめご了承ください。

b42.動画ファイルの再生時について

DVD 対応機種のみ

Windows Media Player などのプレーヤーを使って、MPEG 等の動画ファイルを再生した場合、再生される画面サイズが大きくなる場合があります。あらかじめご了承ください。

b43.スーパー統合辞書の動画再生について

DVD 対応機種のみ

「広辞苑第五版カラーメニュー画面」ウィンドウで「動画」を選択した場合は再生できません。スーパー統合辞書から動画を再生する場合は、次の手順を先に行ってください。

1. それまで本パソコンで行っていた作業を終了します。
必要に応じて作業中のデータを保存し、アプリケーションを終了してください。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」にマウスポインタを合わせ、「MS-DOS プロンプト」をクリックします。
3. 次のように入力します。
`cd C:\Progra~1\Interv~1\Windvd`
4. 次のように入力します。
`C:\windows\system\regsvr32 /u ivivideo.ax`
5. 「閉じる」ボタンをクリックし、MS-DOS プロンプトを終了します。
6. 本パソコンを再起動します。

b44.らくらく写真館について

Cシリーズ,Mシリーズのみ

「らくらく写真館 PhotoViewer」および「らくらく写真館 PhotoViewer プレーヤー」において、アルバム作品の再生を行なうと(ボリュームコントロールの MIDI に対するバランス・音量の設定が変更されてしまい)、バランスが片方だけになったり、音量が最小になったりする場合があります。この場合は、ボリュームコントロールを設定し直してください。

b45.MotionDV STUDIO について

Mシリーズのみ

MotionDV STUDIO を添付の CD から再度インストールした場合、長時間のレンダリングが実行できなる場合があります。その場合は、「リカバリ CD」の 2 枚目の「Motiondv」フォルダの「Mcopy.bat」を実行してください。問題が解消されます。

b46.IEEE1394 デバイス間でのデータ転送をおこなう場合

M3/557 のみ

1394 デバイス間での大量のデータ転送を行うと、まれに本パソコンが正常に動作しなくなることがあります。1394 デバイス間のデータ転送は直接せずに、内蔵 HDD 経由で行ってください。

b47.イメージスキャナの Scanbox について

Mシリーズのみ

下記の弊社製イメージスキャナ及びスキャナ付プリンタに添付のソフトウェア「Scanbox」をご使用になる場合、システムが停止する場合がありますので、次のいずれかの方法で設定を変更してご使用ください。

対象イメージスキャナ : RS-20, RS-20U, RS-C30
対象スキャナ付プリンタ : IA-3000

設定方法

-その1

「画面のプロパティ」の「設定」タブで色数を 256 色に設定します。

-その2

次の手順で「ハードウェアアクセラレータ」を「なし」に設定します。なお、この設定を行うとアプリケーションによっては性能低下や音声などに問題が発生する場合があります。ご了承ください。

1. デスクトップ上の「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
2. 「パフォーマンス」タブの「グラフィックス」をクリックします。
3. 「ハードウェアアクセラレータ」を「なし」に設定し、「OK」をクリックします

Microsoft および Windows、WindowsNT、MS、MS-DOS、Bookshelf、Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Lotus は、Lotus Development Corporation の登録商標です。

1-2-3、Notes は、Lotus Development Corporation の商標です。

一太郎、ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標、または商標です。

K56flex は、Lucent Technologies 社、Conexant Systems Inc.の商標です。

その他の各製品は、各社の商標または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright® 富士通株式会社 2000

画面情報の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

お使いになるうえでの注意事項

B3FH-A588-03-00

発行日 2000年2月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

FUJITSU



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙を使用しています。